週刊 YEAR BOOK

# 1992 平成4年

# 日録20世紀

12|29
平成10年12月29日発行
(毎週1回火曜日発行)
第2巻第49号 通巻92号
平成10年8月21日第三種郵便物認可
¥560
講談社

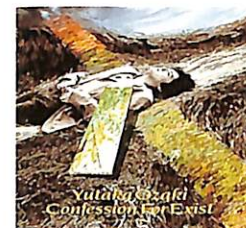
"縄文の常識"を一変した
三内丸山遺跡発見!

除名! 日本共産党・野坂参三の
もうひとつの顔

虐殺、レイプ!
ボスニア「民族浄化」の狂気

# 尾崎豊、26歳の突然死!

▲昭和58年12月1日発売のデビューアルバム「十七歳の地図」。174万1074枚の驚異的売り上げ。

▲シングル「I LOVE YOU」。平成3年3月21日発売。83万7265枚。カラオケでの人気曲。

▲死の直後、平成4年5月10日に発売されたアルバム「放熱への証」。115万3148枚を売り上げた。

▲TVドラマ主題歌「OH MY LITTLE GIRL」(シングル)。平成6年1月21日発売。111万4341枚。

▲死の4年後の平成8年9月30日に発売されたベスト盤「愛すべきものすべてに」。108万6812枚。

ソニーレコード提供（上の四点も）

▶東京・渋谷の東邦生命ビルのテラスに、尾崎豊の歌碑プレートがある。彼が高校時代によく夕日を眺めていたところだという。周囲はファンの落書きだらけだ。 鈴木幸輝

◎表紙　昭和60年8月25日、大阪球場で歌う尾崎豊。デビュー3年目のこの時、尾崎はすでに〝伝説〟に包まれていた。 田島照久



## 「夜の校舎　窓ガラス壊してまわった……」
## 死後4年目のアルバムも100万枚突破

# 〝伝説のロックシンガー〟尾崎豊、26歳の突然死！

流星のように青春を駆け抜けた男——尾崎豊。「若者の教祖」「反逆のシンボル」と言われ、熱狂的支持を得たロックシンガーである。その尾崎が急死したのは、平成四年四月二五日のことであった。それから六年たった今も尾崎の人気は衰えを知らず、光彩を放ち続けている。

### 裸で生まれてきて裸で逝った「オザキ」

平成四年四月二四日の午後遅く、尾崎豊（二六）は個人事務所「アイソトープ」に出社した。翌日が土曜日のため、社長の尾崎は社員の給与を支払わなければならなかったからだ。

事務所での仕事を終えた尾崎は、午後七時すぎからビアレストランのオープニングパーティに妻の繁美（しげみ）（二三）と出席する。体調は最悪だった。七枚目のアルバム「放熱への証（あかし）」の収録の終盤頃から、酒を飲めばかならず吐くようになっていた。その日、尾崎が酒以外に多少でも口にしたものといえば、少量のイカスミのスパゲティとパエリヤだけだった。そして一〇時すぎ、繁美に「もう一軒だけ行く」と告げ、夜の街に消えていった。

「午前四時前に、うちの前で素っ裸の若者が、空手の型みたいなかっこうをしてるのを女房が目撃してるんです。声をかけるのもおっかないから、時々、様子をうかがっていたようです。そのうち姿が見えなくなったので家の外に出てみると、裸のまんまで倒れていたそうです」

四月二五日午前五時一〇分、尾崎は、自宅マンションから直線距離にして一・二キロほどの、足立区千住（せんじゅ）河原町の民家の庭先で倒れているところを発見された。その時の様子を、民家の主の小峰忠雄氏

▲平成4年4月30日、東京・文京区の護国寺で行われた尾崎豊追悼式。大型アストロビジョンに遺影が映され、祭壇の両側にはギターが飾られていた。献花するファンの列は1キロを超えた。 共同通信社

「夜の校舎　窓ガラス壊してまわった……」
死後４年目のアルバムも100万枚突破

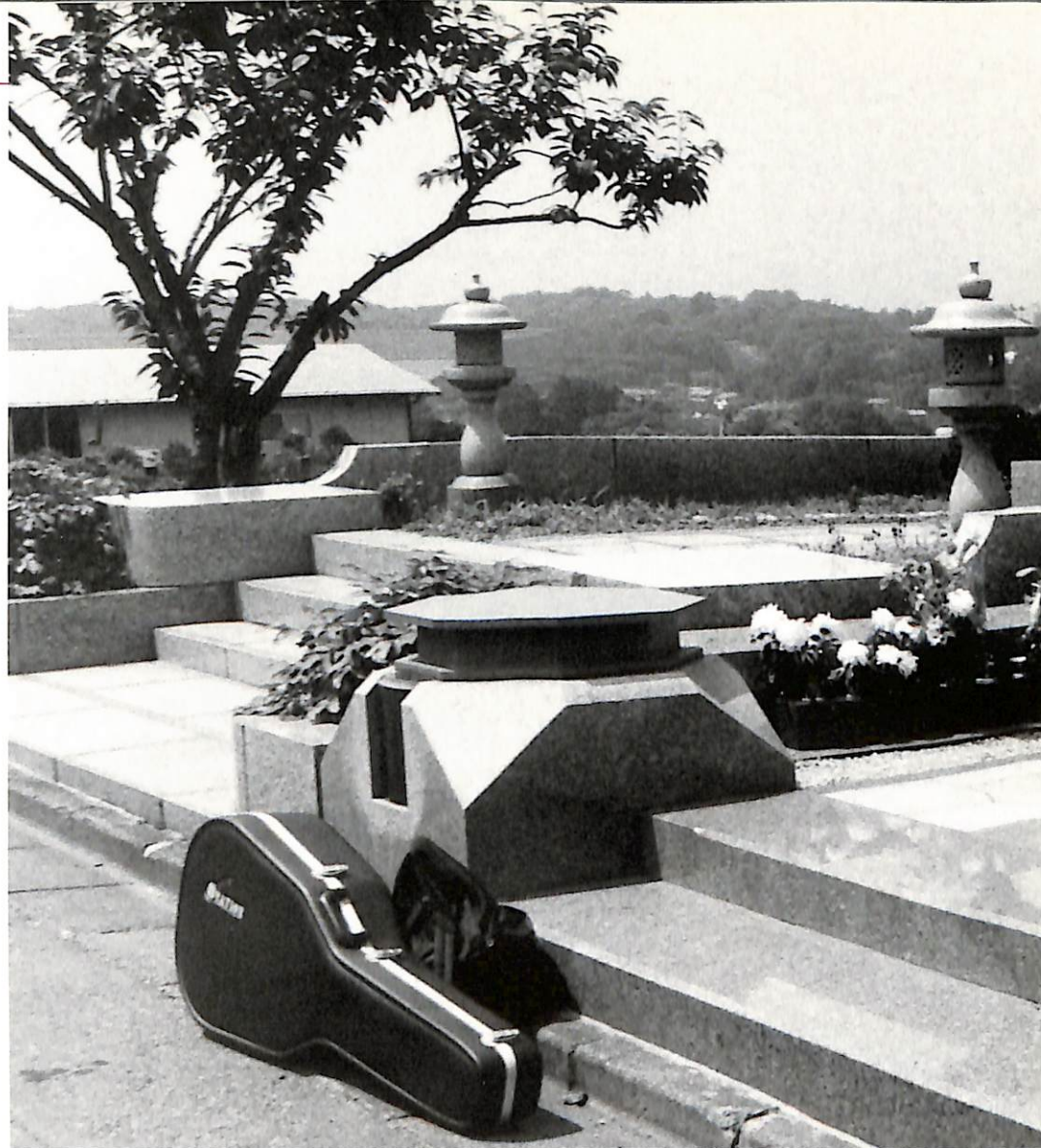
# “伝説のロックシンガー” 尾崎豊、26歳の突然死！

## 内向する若者のやるせなさ

野田正彰（精神病理学者）

豊かな社会の出現は、どう生きていけばいいのかと考えることを若者から奪った。親も学校も、彼らが生きる意味を見つけられるようには育ててこなかったからだ。彼らはどうしていいかわからず、ちゃんと考えることを奪われた息苦しさだけが残った。

尾崎豊は、そんな若者のやるせなさを歌った。だが、かつてのフォークソングのようにプロテストすることはなかった。社会に対する憤りとどうしようもないやるせなさはあったが、彼にはターゲットが見えていなかったのだ。大ヒットの「I LOVE YOU」にしても、自分自身のしんどさを異性にもたれかからせているだけ。しかも、「十七歳の地図」「卒業」には、社会との接点がない。ここにあるのは、オウム事件を起こしたものたちと共通する、〝内向する感情〟だった。異性や喧嘩に逃げる幼さも目立つ。だが、ターゲットを持たない彼には、やるせなさを歌うしかなかったのだ。

▲「舞台に出ると、怖いものなしになる」と尾崎豊は言っていた。昭和62年8月3日、大阪球場。　田島照久

▲埼玉県所沢市に眠る尾崎豊。墓碑には遺作となったアルバムのテーマ「生きること。それは日々を告白してゆくことだろう――放熱への証――」が刻されている。　内藤利朗

（五八）が前記のように語る。小峰さんは、警察官に尾崎の名刺を見せられ、「知りあいですか」と訊かれている。尾崎豊の名前を見ても、彼が誰か見当もつかなかったという。

尾崎は、救急車で白鬚橋病院に運ばれた。保護された当初は泥酔状態だったが、病院に着くと次第に落ち着きを取り戻した。繁美夫人が病院に駆けつけた時には意識もはっきりしていて、しきりに家に帰りたがった。

午前七時すぎ、二人は千住曙町のマンションに戻る。すぐに、兄の康（三〇）とマネージャーが来た。尾崎をリビングのソファーに寝かせる。彼を見守る三人の気がかりは、ひとつだった。覚醒剤をやっているのではないか――。

尾崎繁美は尾崎との日々を綴った『親愛なる遥いあなたへ』（東京書籍・平成一〇年）の中で、この時のことを、こう書いている。

「覚醒剤については心配になったから本人に何度も聞いたところ〝やっていない〟と豊は答えた。だけどそれだけでは不安だったから、彼のお兄さんにどう思うか尋ねた。〝ちゃんとしゃべれるから違うと思う〟という、私と同じ意見だった……」

尾崎には、覚醒剤使用の前科があった。昭和六二年一二月に逮捕され、執行猶予つきながら有罪判決を受けている。「もしかしたら」との思いが彼らの頭をよぎったのは、当然だったろう。

だが、心配は杞憂だった。いや、事態はもっと深刻だった。覚醒剤は使用していなかったが、尾崎の生命は風前の灯だったのだ。突然、尾崎が静かになった。空を見つめた目が動かなくなっている。すぐに救急車が呼ばれ、日本医大病院の救急センターに向かった。

## 雨中の告別式に傘の花　三万五〇〇〇人が行列

平成四年四月二五日午後零時六分、尾崎豊は永遠の眠りについた。死因は肺水腫。青春を駆け抜けた尾崎の死を、翌二六日の「毎日新聞」はこう報じた。↖

「『卒業』の二六歳人気ロックシンガー／尾崎豊さん急死／酒に酔い路上で倒れ」

社会面七段の扱いであったが、尾崎の死が若者に与えた衝撃にまでは踏みこめていなかった。デビューアルバム「十七歳の地図」を一七四万枚も売り、覚醒剤事件後の復活コンサートに五万六〇〇〇人も集めた尾崎豊の死の意味を、社会部記者は理解していなかったのである。

しかし、尾崎のすごさを知る機会はすぐにやって来る。四月三〇日、尾崎豊追悼式が文京区の護国寺で行われた。この日は朝からの雨で、四月も終わろうとしているのに肌寒かった。ところが、式には徹夜組一五〇〇人を含む三万五〇〇〇人が参列した。同日の「読売新聞」夕刊は、「正午すぎには、一般参列者の数は三万人近くにのぼった。大塚署員と機動隊員ら約二百人が出動したが、トラブルはなかった」と、参列者の多さと混乱のなさに驚いている。

尾崎豊は昭和五八年のデビュー以来、「学校」や「大人」をテーマに、「しゃがんでかたまり　背を向けながら　心のひとつも解りあえない大人達をにらむ」（「15の夜」）、「夜の校舎　窓ガラス壊してまわった」（「卒業」）など、出口のない青春を歌ってきた。尾崎の歌は、まさに「息の詰まるような時代」に生きる若者のうめきであった。

昭和五八年、人口一〇〇〇人当たりの少年非行率が一八・二人（警視庁調べ）とピークに達した。五九年からは「いじめ」が目立つようになり、六〇年には警視庁が「いじめ」相談コーナーを開設。ちなみに、六〇年の「いじめ」発生件数は一五万五〇六六件（文部省調べ）にもおよんだ。小・中学生の登校拒否も年々増加する傾向にあり、平成四年には五万七九一八人（文部省調べ）に達している。

尾崎は、こんな時代を、多くの若者とともに走り抜けたのだった。そんな尾崎に、世のおとなたちは「反逆のシンボル」というレッテルを貼った。だが、若者たちは熱烈に支持した。

ただ、「若者の教祖」尾崎も苦しんでいた。ゆき詰まる創作活動、人間関係やビジネス上の軋轢……。逮捕やスキャンダルもあった。彼自身が、管理社会の重圧に押しつぶされそうだったのだ。もしかしたら、あの突然の死は「ゆるやかな自殺」だったのかもしれない。

平成一〇年四月二五日、尾崎の七回忌に、彼が眠る所沢市の狭山湖畔霊園には早朝から数百人のファンが訪れた

▲彼が倒れていた小峰氏宅には、今もファンが集まる。そのため、小峰氏は無償で6畳間を開放した。

# 高さ二〇メートルの巨大建造物、都市計画に基づいた道路
# 一五〇〇年間繁栄した〝北のまほろば〟の大遺跡
# 〝縄文の常識〟を一変した「三内丸山」発見！

▲遺跡中央部に並ぶ掘立柱建物群の発掘風景。柱穴は100棟分以上あり、同じ時期に5〜6棟建っていたと思われる。左上は直径15メートルの大型竪穴式住居跡。　朝日新聞社

まだ春浅い本州の最北端、青森市郊外の三内丸山遺跡で本格的な調査発掘作業が始まった。調査が進むにつれ、徐々に現れたその姿は、今から約四五〇〇年前の縄文時代中期の巨大集落だった。出土した遺物や遺構には、縄文人の生活や古代史に関する常識を変える、貴重なメッセージが含まれていたのである。

## 予想外の出土品の質と量　一七日間延長された調査

「発掘第一日は、気分が高揚していました。集落の全体が明らかになるかもしれないという期待が膨らむばかりでした。案の定、現れたその姿は類例のない巨大なもので、かつ一五〇〇年の長期にもわたるものでした。出土遺物も膨大で保存状態もよく、ひとつひとつが縄文人の生活を生き生きとものがたっていました」

こう語るのは、〝世紀の〟発掘調査の指揮にあたった青森県教育庁文化課三内丸山遺跡対策室総括主幹の岡田康博氏（当時・三四歳）である。

平成四年四月二〇日、まだ雪が残る三内丸山遺跡の発掘調査が始まった。

場所は青森市の郊外、ＪＲ青森駅から南西三キロ。八甲田山系から伸びる穏や↖

かな丘陵地帯で、北側には青森湾に注ぎこむ沖館川が流れている。標高は約二〇メートル、南側には県の総合運動公園、東側には住宅地が広がる台地である。

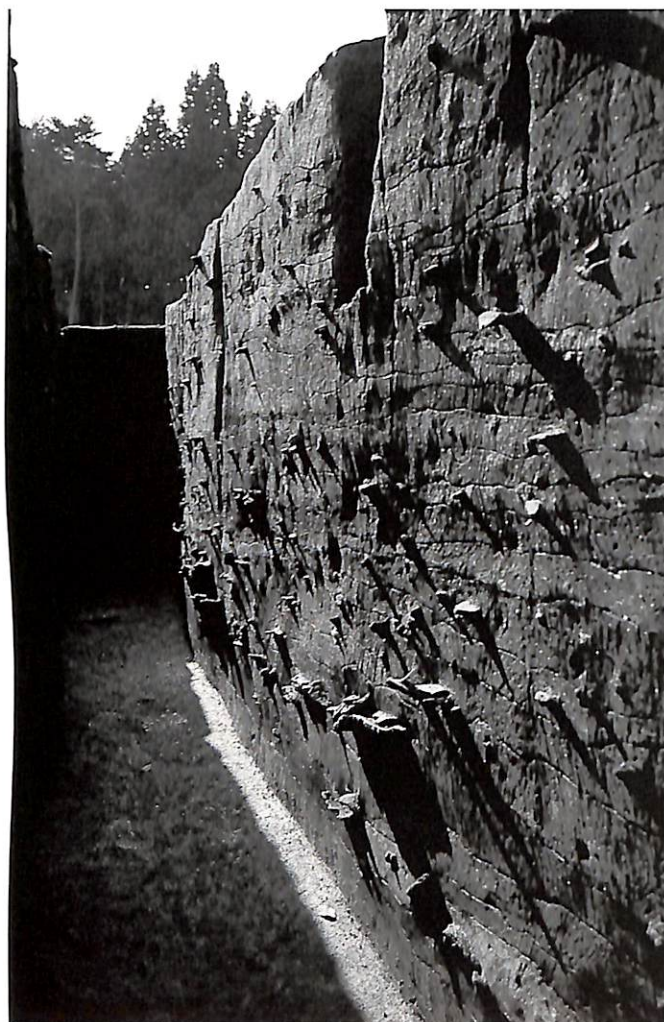
発掘態勢は、作業員が一二〇人という大がかりなもので、発掘面積は二万二〇〇〇平方メートルにもおよんだ。

すでに三内丸山遺跡の存在は、江戸時代から知られていた。国学者で紀行家でもあった菅江真澄は、東北・北海道各地を踏査し、その紀行日記『すみかの山』（寛政一一年）には、土器や土偶のスケッチとともに、この地から数多くの遺物が出土することを記している。第二次世界大戦後には、慶応大学の清水潤三氏（当時・文学部助手）や青森市教育委員会により、何度も発掘調査が行われ、縄文時代中期の遺構や遺物が発見されていた。さらに昭和五一年には、墓が五六基も発見された。墓は同方向、等間隔で東西に並立しており、こうした埋葬方法にも注目が集まっていた。

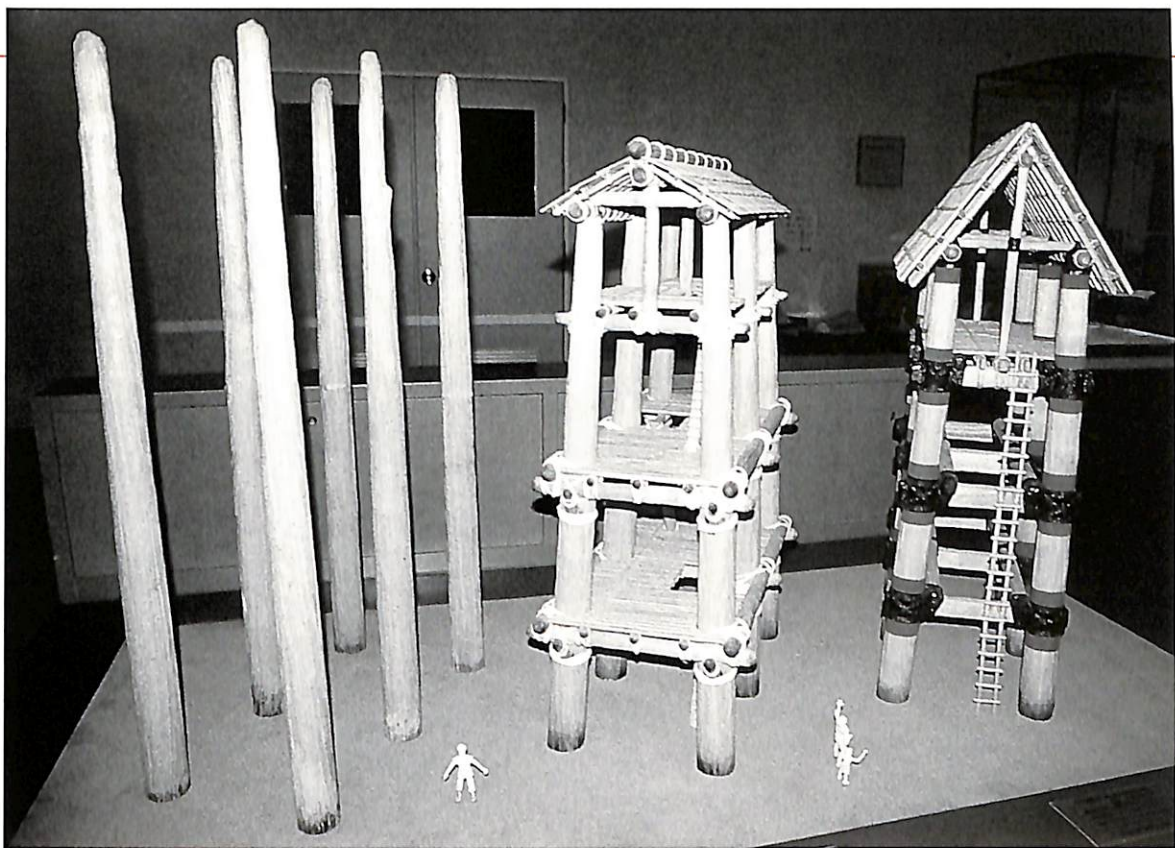
発掘が進むにつれ、遺跡からは大型住居跡や大量の土砂や土器などを処理した盛土遺構などが発見された。当初の予定期間では作業が終わらず、一七日間延長されたほどである。

発掘調査二年目の平成五年は、四月一二日から作業が始まった。発掘面積は前年度より縮小したが、泥炭層からは、漆器や樹皮製品、木製品などが大量に出土した。「縄文のポシェット」として考古学ファンの人気を集めた小袋は、この時に発見されたものである。また採取した泥炭層には、動物や魚の骨、植物の種子など、縄文人の生活を知る手がかりとなるものが多く含まれていた。

三年目の平成六年には、調査スタッフは、作業員五〇〇人と増強され、出土遺物は、ついに段ボール箱四万個におよんでいた。

平成六年七月一五日、三内丸山遺跡に

▲南の盛土遺構のトレンチ断面。1000年間、捨てた土や土器・石器などの上に土をまき、繰り返し整地したためにできた3メートルの積層。

▲空から見た三内丸山遺跡全景。発掘開始直後の撮影で、工事中のスタンドがまだ残っている。

◀巨大六本柱建物の想定復元模型3案。左端は、柱だけが立っていたとする案。実際に復元されたのは、中央の案から屋根を取った形。
青森県教育庁文化課三内丸山遺跡対策室提供（下の2点も）

とって画期的な遺構が発見された。それは大型掘立柱建物跡で、六本の柱穴は直径約二メートル、深さ二メートル、間隔がすべて約四・二メートル、中には直径約一メートルの栗材の柱根が残っているものもあった。それは二千数百年後に建てられた佐賀県・吉野ケ里遺跡の「物見櫓」をはるかにしのぐもので、推定高約二〇メートルにも達する巨大建造物の存在を意味していた。

## やっと決まった遺跡保存 一般公開に八〇〇〇人！

三内丸山遺跡が一般公開されたのは平成六年八月六日、七日のことである。青森市内はねぶた祭りの真っ最中。最高気温三三度を記録する炎天下だったが、県外からの見学者も多く、集まった考古学ファンはなんと、両日で約八〇〇〇人。そのフィーバーぶりがよくわかる。

そもそも、今回の発掘調査は、隣接する県総合運動公園拡張事業にかかわる県営野球場の建設に先立つものであった。つまり、遺跡は調査発掘後に埋め戻され、野球場に姿を変える運命にあったのだ。青森県の埋蔵文化財調査センターは野球場の移転や設計変更を要求したが、聞き入れられず、平成五年一一月には野球場の着工式まで行われていた。

その工事に〝待った〟をかけたのが、先の大型掘立柱建物の遺構発見である。『朝日新聞』が平成六年七月一六日に一面トップで「四五〇〇年前の巨大木柱出土」と報じるなど、そのニュースが全国に伝えられると、県民の間からは遺跡保存の声が湧き起こる。しかし、県側は当初、従来の方針を変えなかった。

事態の急変は七月二二日に訪れた。北村正哉青森県知事が、遺跡保存を検討することを発表、それを受け、八月一日の青森県議会は、野球場建設工事の即時中止、遺跡の保存を決定したのである。

丸山遺跡は、古代史の常識をくつがえす画期的なものであった。

「DNA（遺伝子）分析から栗の栽培が行われていたこと、道路は幅一二メートル、長さ四二〇メートルにおよぶことが明らかになっています。それは『狩猟・採集・移動の縄文時代』という〝常識〟では説明できません。集落は計画的に作られています。六本柱の巨大建造物については、海上交通の目印となるトーテムポール、物見櫓、神殿などの説がありますが、論議は今後ますます広がっていくと思います」

と、岡田氏は語る。

文化庁の土肥孝主任文化財調査官も、こう指摘する。

「住居の数や規模からいって、国内における縄文時代中期最大級の集落だったことは間違いありません。また、膨大な土器などの出土品は、それらがたんに生活用品としてではなく、青森湾を通じて交易が行われていた結果による可能性が高い。つまり、三内丸山は、遠隔地と物を交換するための、海上交通の拠点になっていたのではないでしょうか」

▲〝縄文ポシェット〟。イグサ科の植物の茎で編まれている。高さ約13センチ。中にクルミ片が入っていた（右下）。

事実、この遺跡からは、遠く新潟県姫川産のヒスイ玉や岩手県久慈産のコハク玉、北海道産の黒曜石も出土している。

三内丸山遺跡は、古代史への夢をかきたてるものであった。平成九年三月、国史跡に正式指定され、同年七月には、見学者が一〇〇万人を突破した。高さ一四・七メートルの大型掘立柱建物など九棟も復元され、展示室や体験学習館が整備された現在、月に一万人もの家族連れや考古学ファンが現地を訪れている。

▲直径6センチ前後のヒスイ玉（右上の二つ）と、作りかけのもの。



## 女たちの肖像

# 女優・桜田淳子の選択！統一教会の合同結婚式で「神の導き」のまま挙式

稲葉真弓

ロイター／サンテレフォト

▲新体操の山崎浩子とバドミントンの徳田敦子も同時に挙式。

この年の八月、マスコミはソウル・オリンピックメインスタジアムで行われた統一教会（世界基督教統一神霊協会）の合同結婚式の様子を大々的に報じた。世界中から集まった花嫁・花婿は約一万三〇〇〇組。人々の関心を引いたのは、この結婚式が、自分の選んだ相手とではなく、教会創始者の文鮮明が割り当てた見ず知らずの相手との結婚であること、その中にトップ女優の桜田淳子（三四）が含まれていたことからだった。桜田の相手は、実業家の東伸行（三六）。もちろん、見知らぬ相手だった。

この時の心境を彼女は「宗教裁判か戦場に向かう気分だった」と述べているが、結婚相手に関しては、「神の導きがあるので不安はない」と断言した。さらに「いい子どもを産みたい」と、〝神の子女〟を産む決意を語っている。

神の導きで花嫁となった彼女が、アイドル・スターの階段を上り始めたのは昭和四七年九月、日本テレビの「スター誕生」で四代目チャンピオンに輝いてからだった。

昭和三三年四月、秋田市のサラリーマンの家に生まれた彼女は、子どもの頃からテレビで流れる曲をすぐにおぼえてまねをする少女だった。スターにあこがれた彼女は、中学に入ると毎日、「スター誕生」に応募のはがきを書き、チャンスをつかんだのだ。

一四歳の〝金の卵〟は、トレードマークのエンジェル・ハットに愛くるしい笑顔ですぐに人気スターになり、デビュー翌年の四八年、「わたしの青い鳥」で日本レコード大賞最優秀新人賞を受賞、森昌子、山口百恵とともに〝花の中三トリオ〟と呼ばれ、数々のヒット曲を飛ばした。

五三年、東宝歌舞伎「おはん長右衛門」で長谷川一夫と共演し女優としてデビュー。五五年にはミュージカル「アニーよ銃をとれ」で主役を演じ、翌年、史上最年少で芸術祭優秀賞を受賞した。五八年からは女優に専念、NHKの連続テレビ小説「澪つくし」、大河ドラマ「独眼竜政宗」に出演、堅実な演技が脚光をあびた。そんな彼女が統一教会の信者になった背景には、早くから同教会の信者だった姉の影響があった。華やかな芸能界にあって、珍しいほど生真面目な性格の彼女は、浮き名を流すこともなく〝神の啓示〟を選んだのである。

結婚後は福井県敦賀市に居をかまえて二児を出産、芸能界復帰の声も流れたが、事実上は専業主婦に徹し、平成一〇年五月、三人目を出産。復帰話はまた遠のいた。

## 勝者・敗者

# 名台詞「こけちゃいました」五輪八位でもさらりと一言 マラソン・谷口浩美の哲学

阿部珠樹

「こけちゃいました」の一言が、日本中を明るくした。オリンピックとなると、目の色が変わる国民に向かって、こんな肩の力の抜けた台詞を簡単に口にできるものではない。しかし、それをサラリとやってのけるところに、谷口浩美（三二）の真骨頂があった。

この年の八月九日、バルセロナ五輪の最終日、男子マラソンは、日本中が注視する中で始まった。若い伸び盛りの森下広一（二四）、ソウル五輪四位の雪辱に燃える中山竹通（三二）、そして前年の世界選手権で日本人初の金メダルを獲った谷口の三人は、史上最強の布陣とも言われていた。

ところが、三人の中でも最も期待を集めた谷口は、中間点の給水ポイントで足を引っかけられて転倒し、シューズが脱げてしまうという前代未聞のアクシデントに見舞われてしまった。必死に追い上げるが、三〇秒のロスはいかにも大きかった。八位入賞。チームメイトの森下が、二位に入ったのを考えると、優勝はともかく、十分にメダル圏内にいたわけで、悔やみきれないアクシデントだった。

さぞや谷口は悔しかろう。戻ってきた谷口にマイクが向けられた時、どんな痛恨の思いが語られるか、人々は固唾を飲んでいたはずだ。しかし、返ってきたのは、「こけちゃいました」という、あまりにも素直そのものの言葉と、力一杯戦った満足感にあふれた人なつこい笑顔だった。

「これがマラソンなんだ。こんなアクシデントがあるのがオリンピックなんだ。だから、あんまり勝ち負けに、こだわりなさんな」――谷口の表情はそんなことを語っているようだった。もちろん、谷口が悔しくなかったはずはない。年齢を考えれば最後のメダルのチャンスと言えた。しかし、アクシデントもマラソンのうち。自分はできる限りのことはやった。谷口の笑顔は、メダル至上主義への強烈なプロテストであり、ひいては、日本のスポーツのあり方への大きな問題提起だった。

それにしても、「こけちゃいました」とは、実に、一世一代の名台詞だった。

共同通信社
▲レース後、4位の中山（左）と言葉を交わす谷口。優勝は韓国の黄永祚だった。

## ニュース・ファイル 1992

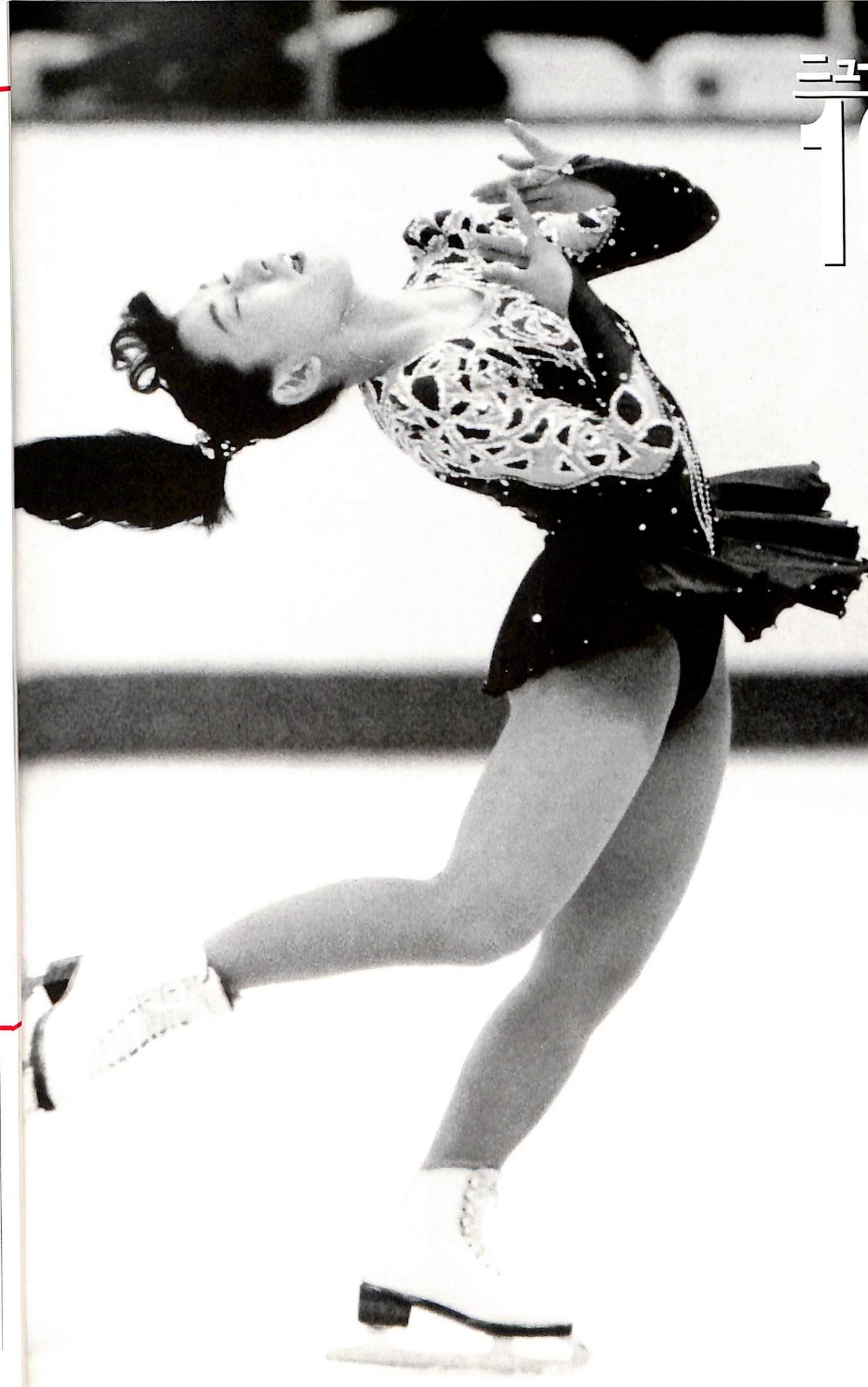
# フォト+日録で再現する366日

東京佐川急便からの五億円違法献金と、暴力団との関係が明らかになった金丸信が、自民党副総裁を辞任し国会議員を辞職したこの年、冷戦後の国際的な安全保障見直しの中、初めて自衛隊の海外派遣を可能にする国連平和維持活動（ＰＫＯ）協力法が成立した。

◀伊藤みどり(22)、執念の銀(2月21日)フランスのアルベールビル冬季五輪フィギュアスケートで、途中転倒しながらも、史上初の3回転ジャンプに成功。重圧を跳ね返し、2度目の五輪でみごとにメダル獲得。
共同通信社



## 1月

朝日新聞社

共同通信社

▲太平洋漂流28日間(1月26日)ヨットレースに出場、消息を絶った「たか号」のクルーの一人、佐野三治さん(31)が奇跡の生還。小笠原近くを救命いかだで漂流中、救助された。

◀貴花田、初づくしの優勝(1月26日)大相撲初場所で初土俵から24場所目のスピード記録、初の10代優勝を達成。親子2代優勝も、史上初だった。右は伯父・二子山理事長。

ロイター／サンテレフォト

◀ブッシュ米大統領、倒れる(1月8日)首相官邸の晩餐会でハプニング。写真は、首を支える宮沢首相。翌日、両首脳は「グローバル・パートナーシップ」を掲げたが、米国では「物乞い外交」の批判も。

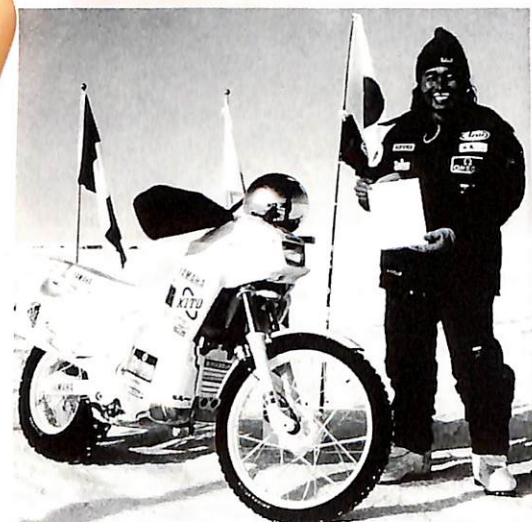
毎日新聞社

共同通信社

◀史上初、バイクで両極点到達(1月3日)昭和62年に北極点横断に成功した冒険野郎、風間深志(41)が、今度は南極点到達に挑戦。時には零下20度の極寒、雪や風をつき約1400キロを走破。

時事通信社

◀脳死臨調、最終答申(1月22日)脳死を人の死とし、臓器移植を認める報告を首相に提出。ただし、臓器移植法制定が条件。右から二人目が永井道雄会長。

▲「極道の妻たち」がデモ(1月19日)3月施行の暴力団対策法について、拡大解釈の危険を訴える新左翼系団体と共闘。東京・銀座で「人権擁護」を訴えた。

### 平成4年1月

1（水）●エルサルバドルの内戦、一二年ぶり停戦合意。
2（木）●ロシア連邦、"価格の自由化"を実施。
3（金）●箱根大学駅伝で山梨学院大、総合初優勝。
4（土）●渡辺美智雄外相、北京で江沢民共産党総書記と、天皇訪中などについて会談。
5（日）●上原三枝、スピードスケート全日本選手権女子総合で初優勝（橋本聖子の一一連覇阻止）。
6（月）●北朝鮮が核査察を受け入れれば合同演習中止、と米・韓大統領が声明。
7（火）●ブッシュ米大統領、来日（8日、首相官邸での夕食会で大統領が倒れ、退席）。
8（水）●全国高校サッカー決勝で帝京と四日市中央工、決着つかず七年ぶりの両校優勝。
9（木）●明石康、国連カンボジア暫定行政機構（UNTAC）特別代表に任命される。
10（金）●仙台高裁、共働き女性への家族手当支給制限は男女同一賃金違反と岩手銀行の控訴棄却。
11（土）●大学入試センター試験（約四七万人出願）開始。
12（日）●山口県下関で瀬渡し船転覆。九人死亡。
13（月）●阿部文男代議士、鉄骨加工メーカー「共和」からの受託収賄容疑で逮捕。
14（火）●横綱旭富士が引退（横綱在位九場所）。
15（水）●ECがクロアチアとスロベニアを承認。
16（木）●歯科医国家試験漏洩容疑で鶴見医大教授逮捕。
17（金）●訪韓中の宮沢喜一首相、従軍慰安婦問題につき韓国国会で公式謝罪。
18（土）●警視庁、篠山紀信『TOKYO NUDE』に警告（21日、「週刊SPA!」にも）。
19（日）●暴力団対策法反対で新左翼、組員ら合同デモ。
20（月）●前年の企業倒産の負債総額、約八兆円に急増。
21（火）●韓国、従軍慰安婦問題で日本に補償要求。
22（水）●脳死臨調、臓器移植認める最終答申を提出。
23（木）●都市銀行の住宅ローン、三月から値下げ決定（固定型年六・七八％に）。
24（金）●常磐炭鉱塵肺訴訟、約四億円支払いで和解。
25（土）●国立病院・診療所の土曜休診実施。
26（日）●貴花田（現・貴乃花）、大相撲初場所で史上最年少（一九歳五カ月）優勝。
27（月）●アリコ・ジャパン、癌や脳卒中の療養中に保険金支払いの新型保険発売（29日、日生も）。
28（火）●前年のエイズ感染者二三八人と厚生省発表。
29（水）●経団連、「継続・気軽・根気」の社会貢献白書。
30（木）●北朝鮮、国際原子力機関との核査察協定調印。
31（金）●大店法（大規模小売店舗法）施行。

▶ビル新築中の床が崩落(2月14日)海上自衛隊厚木基地の体育館2階床に生コン注入中、突然落下。7人死亡、13人が重軽傷。経費節減の工法変更が原因。

◀カラーコピーでニセ1万円札(2月17日)前月、タクシーで3枚が使われ、警視庁は学生の兄弟を逮捕。東京・葛飾の自宅から大量のニセ札を押収した。

共同通信社

共同通信社

▲佐川急便事件で渡辺元社長(写真中央)ら逮捕(2月14日)無断で債務保証や融資を行い、会社に大損。多額の裏金を自民党副総裁・金丸信ら政治家に流した。

▶「毛皮買わないで」(2月18日)「国際毛皮見本市」が開催された東京・池袋のサンシャインシティで、動物保護団体・PETAのメンバーが半裸のアピール。

共同通信社

読売新聞社

▶タイソン(25)、婦女暴行で有罪(2月10日)ミスコンテスト会場で知り合った被害者(18)の訴えに、元世界ヘビー級王者は「合意」を主張したが却下。翌月、収監された。

ロイター/サンテレフォト

▶衆院予算委で「共和事件」追及(2月25日)元総務庁長官・塩崎潤を証人喚問(写真)、元首相・鈴木善幸を参考人聴取。しかし、両人とも金銭は返却と答弁。野党の追及を逃れた。

共同通信社

## 平成4年2月

1(土)●エリツィン・ロシア大統領とブッシュ米大統領、初の首脳会談で「敵対から友好へ」の宣言。
2(日)●関東を中心に地震。東京では六年ぶり震度五。
3(月)●宮沢首相、「米国労働者は勤労倫理観に欠ける」と発言。米国で猛反発。
4(火)●ミャンマーで内戦、カレン難民がタイに流入。
5(水)●福岡高裁、水俣病第三次訴訟で一時金八〇〇万円など和解案提示。
6(木)●江崎玲於奈、筑波大学長に選出。
7(金)●EC加盟国、統合の基本を定めたマーストリヒト条約に調印。
8(土)●フランスのアルベールビルで冬季五輪開幕(~23日。日本はメダル七個獲得)。
9(日)●東京国際マラソンで森下広一、初優勝。
10(月)●山口組直系二七団体が、株式会社の法人登記。
11(火)●日本初の地球資源衛星、打ち上げに成功。
12(水)●WHO、世界のエイズ感染者はおとな九〇〇万~一一〇〇万人、子ども一〇〇万人と発表。
13(木)●新聞協会が皇太子妃候補報道三ヵ月間差し控えの申し合わせ(5、8月にも三ヵ月延長)。
14(金)●東京地検、政界や暴力団癒着の東京佐川急便・渡辺広康元社長らを特別背任容疑で逮捕。
15(土)●風疹が前年の三倍以上の流行と新聞に。
16(日)●テニスのナブラチロワ、一五八勝のツアー新。
17(月)●在日米軍基地内に危険廃棄物の放置判明。
18(火)●中京大学学長、出張中の米国で射殺される。
19(水)●富士通、世界初の大規模集積回路を開発。
●経企庁、前年一~三月をピークに景気は下降期に入ったと発表。
20(木)●飯塚市で小一女児二人不明に(21日遺体発見)。
21(金)●自民党総務会で天皇訪中に慎重論。
22(土)●宮城県の東北自動車道で六七台衝突事故。
23(日)●大蔵省、年内のNTT株売却の見送りを決定。
24(月)●コスモ証券、外食大手「すかいらーく」との債権トラブルで、三六〇億円を支払う調停成立。
25(火)●衆院予算委、「共和」問題で鈴木善幸元首相の参考人聴取(入閣謝礼受け取り認める)。
●東大入学試験の国語で、映画「男はつらいよ」の「フーテンの寅さん」に関する問題出題。
26(水)●首都機能移転問題懇、国会移転など中間報告。
27(木)●水戸地裁下妻支部、婦女暴行致傷事件で被告の体液のDNA鑑定を証拠として初認定。
28(金)●将棋の谷川浩司竜王、王将戦で勝ち四冠に。
29(土)●ボスニアで独立を問う国民投票(~3月1日)。



▶「さよならウルフ」(2月1日)元横綱・千代の富士が東京・両国国技館で断髪式。師匠の九重親方が大たぶさを切り落とすと(写真)、大粒の涙が落ちた。

◀瀬戸内海でサメ騒動(3月8日)潜水漁師が松山市沖で貝採り中に襲われ、行方不明。写真は引き揚げられた潜水服とヘルメット。胸からちぎれ、肉片付着。

共同通信社

報知新聞社

▶「のぞみ」デビュー(3月14日)東海道新幹線に新型車登場。午前6時、東京駅を出発した。最高時速270キロ、東京—新大阪間を2時間30分に短縮した。

共同通信社

読売新聞社

▲ラッシュ時スト11年ぶり(3月27日)私鉄大手の賃上げ交渉が難航、関東・関西9組合が始発からスト突入。中止は、午前10時すぎだった。写真は、東急目蒲線・目黒駅近くで線路上を歩く通勤者たち。

◀雪の道央自動車道で186台玉突き(3月17日)千歳市郊外でバス、大型トラック、タンクローリーなどが次々追突。二人死亡、60人が重軽傷を負った。前夜来の降雪でアイスバーンになり、視界も不良。

▶「ハウステンボス」開場(3月25日)長崎県佐世保市内に、国内最大級の複合リゾート施設が出現。東京ディズニーランドの約2倍の用地にオランダの街並みを再現し、テーマパークや娯楽施設を建設した。

読売新聞社

読売新聞社

## 平成4年3月

1(日)●暴力団対策法、施行。
2(月)●米軍、横田空域の一部返還。
3(火)●日教組、社団法人へ規約改正し、「争議行為」を削除。
4(水)●ミノルタ、米国・ハネウェル社と特許紛争で一億二七五〇万ドルを支払い和解。
5(木)●高知市で高一の姉が中一の妹を殺害し、逮捕。
6(金)●厚生省、新薬臨床試験データ公開、と新聞に。
7(土)●初のプロアマ交歓野球、一〇対九でプロ辛勝。
8(日)●松山市沖で潜水漁師がサメに食い殺される。
9(月)●原子力安全委、関西電力美浜原発事故で、安全審査指針見直し・老朽化対策などの最終報告。
10(火)●「コミック表現の自由を守る会」発足。
11(水)●大和証券・同前雅弘社長、「飛ばし」問題で辞任、賠償額八六五億円。
12(木)●公取委、独禁法違反罰金の上限を一億円に。
13(金)●トルコで直下型大地震。M六・二。死者多数。
14(土)●新幹線「のぞみ」登場。東京—新大阪二時間半。
15(日)●UNTAC、正式発足。
16(月)●佐川急便グループとの交際を指摘された社会党の安恒良一代議士、辞職勧告を拒み離党届。
●ペルーのフジモリ大統領、来日。
17(火)●北海道の高速道で一八六台が追突、二人死亡。
18(水)●日本医師会、「尊厳死」を容認。
19(木)●乗用車の対米輸出自主規制枠、六五万台減の一六五万台に。
20(金)●足利市で演説の金丸信に右翼が発砲。
21(土)●厚生省、肺癌死急増と発表。
22(日)●神奈川県湯河原町の町議選に北欧出身の弦念丸呈(ツルネン・マルテイ)当選。
23(月)●福島地裁、宿直員殺し(昭和42年)で無期懲役確定の斎藤嘉照さんの再審決定。
24(火)●東京地裁、リクルート事件で加藤孝・元労働事務次官に懲役二年、執行猶予三年の判決。
25(水)●佐世保市にハウステンボスがオープン。
26(木)●婦女暴行のタイソンに実刑六年と罰金三万ドル。
27(金)●大手私鉄賃上げ交渉で一一年ぶりスト。
●青森県六ケ所村で民間ウラン濃縮工場が開業。
●国土庁、公示価格が一七年ぶりに下落と発表。
28(土)●バルセロナ五輪代表に谷口浩美ら決定。
29(日)●フランス県議選で与党の社会党が大幅に後退。
30(月)●「羊たちの沈黙」がアカデミー賞五部門受賞。
31(火)●富山・長野連続誘拐殺人事件控訴審で宮崎知子に死刑、共犯とされた男性に無罪。

ロイター/サンテレフォト

▲溶岩流迫る(4月14日)前年末から爆発を繰り返すイタリア・シチリア島エトナ山(3263メートル)火口から、東部山麓の町・ザッフェラーナまで1キロと迫った。軍隊が流れを分断し、ようやく阻止。

ロイター/サンテレフォト

◀ロンドン金融街で連続爆弾テロ(4月10日)二人が死亡、日本人銀行員多数を含む80人が負傷。IRAが犯行声明。総選挙の保守党勝利への反発とされた。

読売新聞社

▲防衛大に初の女子大生(4月4日)競争率9倍の推薦枠、22倍の一般枠入試を突破した39人。神奈川県の全寮制学生舎に入り、自衛隊幹部をめざした。

読売新聞社

▲セクハラに損害賠償(4月16日)福岡地裁が、「セクハラは不法行為」の初判断。異性関係を執拗に責め、退職を強いた上司らが敗訴。写真は原告側報告集会。

読売新聞社

▲豪華客船でホエール・ウオッチング(4月1日)読売旅行が主催、「飛鳥」で小笠原周辺の自然観察、史跡めぐり。クルージングブームにこたえて企画された。

▶小錦「差別発言」否定(4月27日)米国誌が「横綱になれないのは外国人だから」という発言を掲載した件で、記者会見。騒動に決着をつけた。右は高砂親方。

共同通信社

## 平成4年4月

1(水)●建設省と水資源開発公団、長良川河口堰は「生態系に大きな影響なし」と追加調査結果発表。

2(木)●ジンバブエ、最悪の干ばつに国家災害宣言。

3(金)●任天堂、シアトル・マリナーズ買収に合意。

4(土)●大阪市内で二セ一万円札一〇枚が見つかる。

5(日)●ペルーのフジモリ大統領、議会解散・憲法停止の非常措置。

6(月)●帝京高、選抜高校野球で初優勝。

7(火)●宮城県岩沼市で日本初の顕微授精ベビー誕生。

8(水)●最高裁、甲山学園事件で殺人罪に問われた保母の上告を棄却。

9(木)●経企庁、一人当たり所得平均最高は、東京の四二六万円で最低の沖縄の二・二五倍と発表。

10(金)●ロンドンの金融街などで連続爆撃テロ、二人死亡、八〇人が負傷。IRAが犯行声明。

11(土)●ロシア人民代議員大会、三カ月以内の内閣更迭を決議。

12(日)●山村新治郎代議士が、次女に刺され死亡。

13(月)●私大の初年度納付一一〇万円突破と文部省。

14(火)●民間調べで九一年度倒産件数は一万一七六七件で前年度比六四・四%増。

15(水)●「朝日ジャーナル」、休刊へ。

16(木)●福岡地裁、初のセクシャルハラスメント(セクハラ)訴訟で上司の不法行為を認定。

17(金)●米国・GM社のアジア地区自動車部品開発センター、東京の昭島市に完成。

18(土)●NHKラジオで九時間の大阪弁全国放送。

19(日)●第一回救急救命士試験。四四七四人が受験。

20(月)●熊本県御船町で発見された哺乳類の化石が、世界で二番目に古い九〇〇〇万年前と判明。

21(火)●通産省、時間帯別電気料金の六月実施を認可。

22(水)●北方四島からビザなし渡航第一陣来日。

23(木)●大蔵省、二一行の不良債権は約七兆円と発表。

24(金)●東京・横浜地区のタクシー値上げ認可(5月26日から初乗り六〇〇円に)。

25(土)●ロック歌手・尾崎豊、東京の民家庭先で発見。

26(日)●競馬の天皇賞でメジロマックイーンが史上初の連覇(武豊騎手は春の天皇賞四連覇)。

27(月)●東京地裁、三四億円脱税の「地産」前会長・竹井博友被告に、懲役四年、罰金五億円の判決。

28(火)●最高裁、台湾出身元日本兵の補償要求を棄却。

29(水)●ロサンゼルスで、白人警官による黒人暴行事件無罪に黒人暴動(翌々日、非常事態宣言)。

30(木)●『自殺白書』、事業不振の自殺増加を指摘。



### 証言・あの日この日

**島田裕巳**(38)

**5月15日(金)**〈92年5月15日金曜日の午前10時、私は東京地方裁判所103号法廷の被告席に座っていた。向かいの原告席には、「幸福の科学」の会員たち20名あまりが、弁護士とともに座っていた。なかには、作家の景山民夫も含まれている〉(島田裕巳『信じやすい心』)

この頃、宗教学者・島田裕巳は、新しい過激な宗教運動を熱心に調査、それを雑誌に報告し続けた。その中の「バブル宗教『幸福の科学』を徹底批判する」が「幸福の科学」を誹謗したとして訴えられ、この日がその初公判の日だった。しかし島田は、「幸福の科学」に対しては批判的であったが、もうひとつの過激な宗教団体「オウム真理教」の犯罪的体質は見抜けず、逆に好意的な記事を書いた。後に、その責任を追及され、島田は日本女子大を辞職する。(山崎行太郎)

共同通信社

読売新聞社

▲天皇・皇后両陛下が吉野ケ里遺跡訪問(5月13日)発掘現場を見学。ちょうど佐賀県教委が第2の環濠集落を発見、弥生時代に二つの集団が共存していた初のケースを調査中だった。

共同通信社

▲北方領土へ、ビザなし渡航(5月12日)元住民12人を含む第1陣45人が、国後島古釜布港に上陸(写真)。日本側は「領土問題解決の第一歩」とした。

ウラジオストク新聞社/共同通信社

▶ウラジオストクで軍の火薬庫爆発(5月14日)翌々日やっと鎮火。市街地への延焼はなかったが、CIS太平洋艦隊の弾薬の3分の2を喪失、軍人3人が死亡。原因はタバコの火の不始末だった。

朝日新聞社

▶歌手・藤山一郎(81)に国民栄誉賞(5月28日)首相官邸で表彰式。宮沢首相が歴代9人目の受賞者をたたえた。「青い山脈」は、今も歌い継がれるヒット曲。

毎日新聞社

▶沖縄復帰20周年(5月15日)東京では政府主催の式典に、天皇・皇后、宮沢首相、クエール米副大統領らが出席し、「日米友好」を強調。沖縄では大田昌秀知事(写真)が「基地縮小」に言及した。

## 平成4年5月

1(金)●高額納税者公示。土地長者が上位一〇〇人中八六人。

2(土)●国家公務員の完全週休二日制スタート。

3(日)●ゴルフの尾崎将司、中日クラウンズで優勝。国内プロ最多の通算七三勝。

4(月)●タイで民主化要求運動(17日、非常事態宣言)。

5(火)●米国防総省、湾岸戦争の日本負担金を一〇〇億一二〇〇万ドルと発表。

6(水)●新幹線「のぞみ」が名古屋で故障、四八本運休。

7(木)●細川護熙前熊本県知事、新党結成を発表。

8(金)●北勝海、引退表明(六一年ぶりに横綱不在に)。

9(土)●マドリードの政府郵便切手製造機関会議で、日本の切手が三部門で初の優秀賞受賞。

10(日)●和歌山県古座町で密航中国人三五人逮捕。

11(月)●北方領土へビザなし渡航第一陣が花咲を出港。

12(火)●警察庁、優良運転者にゴールドカード新設へ。●米CIA、ケネディ暗殺事件の機密文書公開。

13(水)●茨城カントリー・クラブ事件で会員権販売会社の元社長ら、法人税法違反容疑で逮捕。

14(木)●大蔵省、資金洗浄の防止策を七月実施決定。

15(金)●警視庁、「芸術性高いヘアOK」の新基準。

16(土)●前年入国の外国人は約三八五万人と法務省。

17(日)●スイス、IMF(国際通貨基金)加盟決定。中立の国是を変更。

18(月)●スターリン時代にソ連渡航の杉本良吉ら三人が国家反逆罪で銃殺されたことを正式確認。

19(火)●韓国民自党、文民の金泳三を大統領候補に(12月18日、当選)。

20(水)●在日韓国・朝鮮人ら永住者の指紋押捺制度廃止の外国人登録法改正が成立。

21(木)●自民党、サッカー籤法案の国会提出断念。

22(金)●映画の伊丹十三監督、暴力団に斬られ重傷。

23(土)●缶入り緑茶生産が前年の倍増と新聞に。

24(日)●関脇曙、初優勝(27日、大関昇進)。

25(月)●IAEAの核査察チーム、北朝鮮に到着。

26(火)●米国、遺伝子組み換え食品の製造・販売解禁。

27(水)●NATO国防相会議、緊急対応軍を一〇月までに始動で合意。

28(木)●東京で五月の雷発生が六日になり最多記録。

29(金)●東京地裁、駅の階段転落事故訴訟で接触の小学六年生に九八万円の支払いを命じる。

30(土)●フィリピン大統領選挙でラモス、勝利宣言。

31(日)●クレジットカードなどでの前年の自己破産申し立てが約二万三〇〇〇件と総務庁。

▲衆院PKO特別委、質疑打ち切り(6月11日)写真は、林委員長に抗議する社・共委員。法案に、PKF(維持軍)参加には国会の事前承認が必要などの修正を加え、15日、成立。

共同通信社

▲中野浩一(36)、ラストラン(6月11日)競輪界のスーパースターが、故郷・福岡県の久留米競輪場でファンにお別れ。世界選手権で昭和52年から61年まで10連覇という、前人未到の記録を持つ。

共同通信社

▶任天堂、米大リーグを買収(6月11日)米国子会社のあるワシントン州の球団、シアトル・マリナーズ所有を、大リーグ・オーナー会議が持ち株比率5割弱の条件で承認。写真は発表するビンセント代表。

読売新聞社

◀フィリピン新大統領にラモス(6月30日)独立後最大の選挙戦で、マルコス元大統領夫人らを破って勝利。写真は就任式にのぞむ、ラモス夫妻と左端・アキノ前大統領、右端・エストラダ副大統領。

ロイター／サンテレフォト

毎日新聞社

▲満員列車暴走(6月2日)茨城県の関東鉄道取手駅で車止めを越え、ビルに突っこんで大破。一人死亡、180人が重軽傷。原因は非常ブレーキの戻し忘れ。運転士は無事だった。

読売新聞社

▲ブラジルで地球サミット開催(6月3日)「南北問題」に難渋しつつ、地球環境保全に向けた枠組みを12日間、178ヵ国代表が討議。史上最大の国際会議となった。

## 平成4年6月

1(月)●ロシア、IMFに加盟。

2(火)●茨城県取手駅で通勤列車が駅ビルに突っこみ一人死亡。一八〇人負傷。

3(水)●ブラジルで国際環境開発会議(地球サミット)、開幕(～14日)。
●中央薬事審、エイズ新薬輸入を異例の短期審査で承認。

4(木)●米価審議会、生産者麦価の据え置きを答申。

5(金)●参院特別委で自公民、PKO(国際平和維持活動)協力法案強行採決(15日、成立)。

6(土)●前年の出生数が一八年ぶり増加と厚生省。

7(日)●アゼルバイジャン大統領選挙でエリチベイ人民戦線議長を選出。

8(月)●競輪の中野浩一、引退表明。

9(火)●日本の対米直接投資は前年比七四％減と。

10(水)●売り場面積日本一の東武・池袋店オープン。

11(木)●兵庫県警、山口組を指定暴力団に(12日、警視庁が稲川会、住吉会を指定)。

12(金)●箕面市、全国初の指導要録全面開示を決定。

13(土)●運輸省が飛行船遊覧認可へと新聞に。

14(日)●トヨタが一四年ぶりに期間工の採用中止。

15(月)●国連軍縮広島会議開幕(冷戦後の平和討議)。

16(火)●茨城県守谷町の花火工場で爆発、三人死亡。

17(水)●フィギュアの伊藤みどり、プロ転向。

18(木)●ODA(政府開発援助)実績、約一一〇億で世界一に。

19(金)●フランス国民議会、核不拡散条約(NPT)加入のための法案を可決。

20(土)●南アで黒人グループが住民襲撃、四九人死亡。

21(日)●埼玉県知事選で、自民推薦の土屋義彦が当選。

22(月)●骨髄バンク、患者登録スタート。
●カンボジア復興閣僚会議開催。ポト派も出席。

23(火)●ユーリ海老原、ボクシングフライ級の王者に。

24(水)●モスクワの美術館で七千余点の浮世絵発見。

25(木)●経済審議会、年収の五倍での住宅取得など「生活大国五ヵ年計画」を答申。

26(金)●西武の清原和博、最年少での二〇〇号本塁打。

27(土)●日本人の平均寿命は男七六歳、女八二歳で世界一を維持と厚生省。

28(日)●田部井淳子、日本人初の七大陸最高峰制覇。

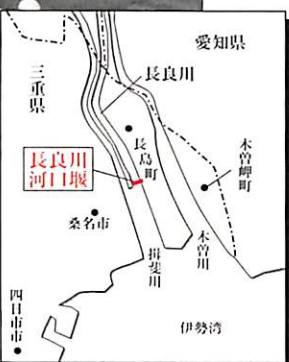
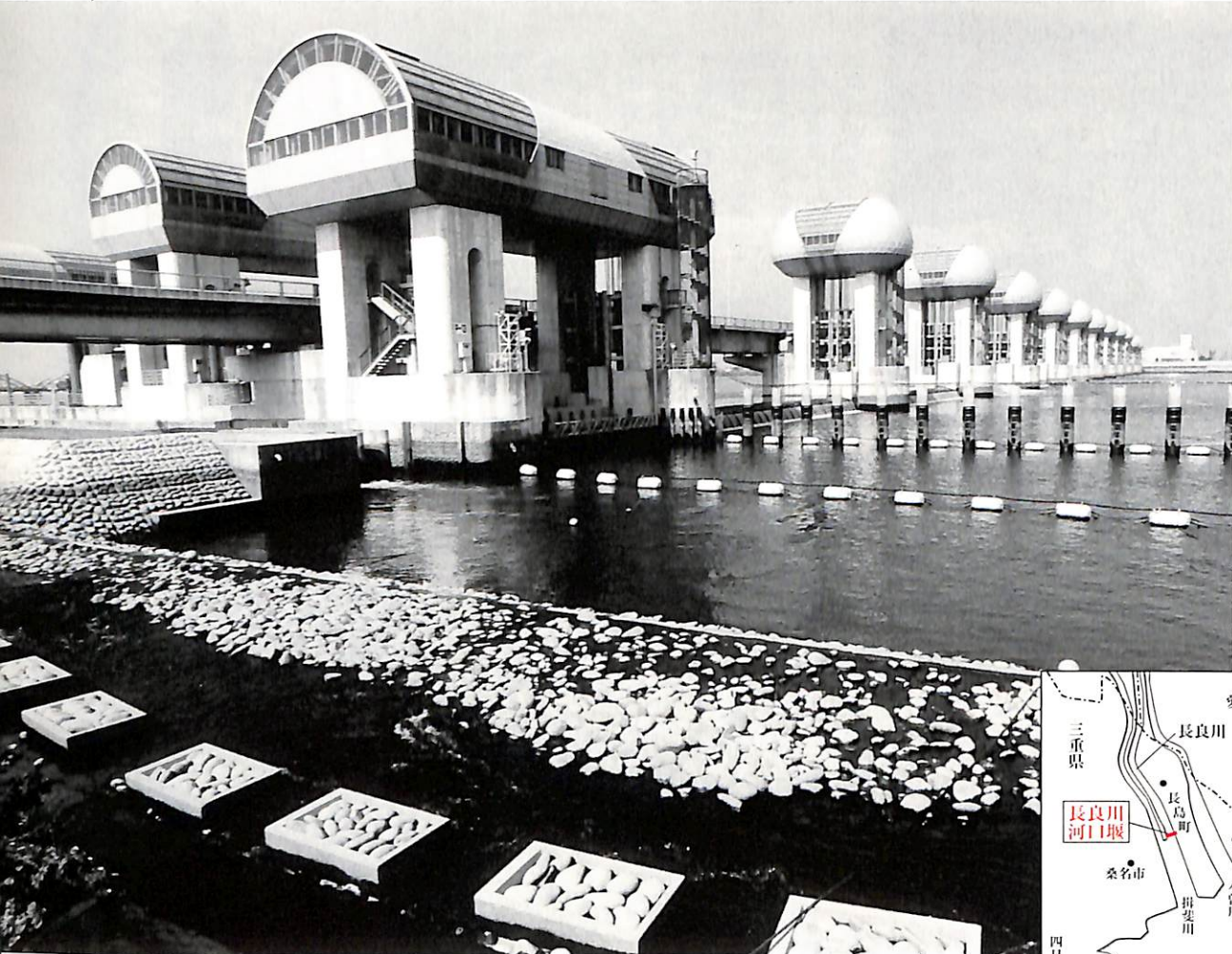
29(月)●高校教育改革推進会議、全日制高校の単位制導入などを提言。

30(火)●衆院議長、社会・社民連議員一四一人の集団辞職願を認めないと判定。



# 「現場」を歩く 長良川

## 「アクアプラザながら」開設などの“サービス”でも解けない河口堰への疑問

山本徹美

▲長良川は、四万十川と並ぶ、数少ないダムのない一級河川だった。平成7年7月から運用開始されたこの堰は長さ660メートルで、河口から5.4キロの地点にある。手前は魚道。 但馬一憲

平成四年一〇月三日、三重県長島町の中央公民館で「国際河川環境会議」が開催され、すでに着工された長良川河口堰の建設反対と即時中止を訴えた。

長良川河口堰の構想は古く、昭和三五年にさかのぼる。前年の伊勢湾台風で長良川が氾濫、多数の死者・行方不明者を出し、その洪水対策として浮上したのが、浚渫案だった。河床を掘り下げることで容積を拡大、水位を下げ、水流をスムーズにしようというのである。が、そうすると満潮時には海水が逆流しやすくなる。古来、長良川河口二〇キロの流域一帯は塩害に悩まされてきた。そこで、河口に堰を設け、海水の流れを遮断する方法が採択されたのである。

堰は、いわば河口ダム。そこに貯めた水は飲料、工業用水に利用でき、一挙両得とあって、建設省による長良川河口堰の事業化計画は昭和四三年、閣議決定。これに対し地元漁協組合員約二万六〇〇〇人は、堰はヤマトシジミの育成に害を与え、鮎やサツキマスなどの遡上、降下にも悪影響をおよぼす、と反発。昭和四八年、建設差し止め訴訟提訴。同五六年、堰に最新式魚道を設けることで漁協側の同意を得て同六三年三月、工事に着手。

同年六月、今度は大阪で「長良川河口堰建設に反対する会」が結成され、環境問題として全国的に波紋を呼ぶ。

### 川は誰のものか

河口堰を訪ねてみた。長島町側の岸辺には資料館「アクアプラザながら」が開設され、堰の広報機能をつとめている。

「堰が操業された平成七年にここもオープンし、参観者はすでに二二万人を突破。シジミや鮎の漁獲高について、地元漁協からの苦情はありません」(同館・小島茂夫ゼネラルマネージャー)

建設をめぐって長い間論議が交わされたせいか、一般のダムなどにはない“サービス”もあり、魚道の側面には強化ガラスが張ってあって、水中の様子が観察できる。鮎の遡上に関しては毎年、観測が行われていて、平成一〇年度は五四三万一一九六尾を確認。そのために毎日延べ一〇人の観測係が臨時で雇われているという。

長良川河口堰建設に要した費用は約一八五〇億円。ほぼ同規模の利根川河口堰が一二八億円で完成(昭和四六年)したのと比べると約一四倍の費用がかかっている。現在も活動を続ける「長良川河口堰建設に反対する会」の岐阜支部・高木久司代表が疑問を投げかける。

「河口堰建設に関して、どこにどう私たちの血税が使われたのか、その明細を提出するよう求めても、水資源開発公社は応じない。経済状況が変化して、工業用水の需要が激減し、水利の役割ははたしていない。こんなむだな公共事業が、官僚の独断と、業者の利権で強行され、国民はないがしろにされているんです」

川はその周辺に住む人々だけのものではない。堰のゲートに立つと、伊勢湾から猛烈な向かい風が吹きつけてきた。

読売新聞社

▲平成4年1月23日、現場を視察する山崎拓建設相。6月にブラジル・リオデジャネイロで開かれた「地球サミット」でも、長良川の問題はアピールされた。

## ベストセラー

# 『それいけ×ココロジー』などTVのバラエティ本に人気！

テレビの人気バラエティー番組「それいけ×ココロジー」の単行本が売れて、この年のベストセラーになった。自分の心の深層にひそむ記憶や願望を映し出すという心理テストが、人気を呼んだ。

たとえば、「あなたは間違い電話をして、無言で電話を切ってしまいました。するとベルが鳴り受話器を取ると、今間違ってかけた相手です。その人に何と言いますか」という問題が出される。そして答えが出されたところで、この電話機は実は「あなたの性態度」を表しており、この場合の相手への対処は「浮気がバレた時のいいわけ」だというのである。番組中のタレントの答えも紹介しており、これがまた新たな面白さを生んだ。

また、同じような人気バラエティ番組の本、『たけし・逸見の平成教育委員会』もよく売れた。主として私立中学入試問題を取り上げ、テレビではタレントがチャレンジした問題に、本では読者が答えることになる。たとえば国語には次のような問題があった。「次の四字熟語を完成させなさい。□小□大、大□不□、青□白□、□一□二」、あるいは、反対の意味を持つ対の熟語を完成させよという問題には、「□然—□然、□線—□線、□観—□観」といった難問が並んだ。

一方、時代の状況を真っ向からとらえた宮崎義一の経済分析の書『複合不況』が発売され、注目を集めた。この年までに、アメリカから日本、ヨーロッパに広がった景気の落ちこみは、一九八〇年代なかば以降、一斉に金融自由化を進めた結果であるとした著者は、日本政府の見通しの甘さを鋭く批判しつつ、具体的な資料を駆使して、それ以降に続く景気後退を看破してみせたのである。

**●平成４年のベストセラー**

| 順位 | 書名（著者／出版社） |
|---|---|
| 1位 | 「それいけ×ココロジー（1·2·3）」（それいけ!!ココロジー編／青春出版社） |
| 2位 | 「人間革命（11）」（池田大作／聖教新聞社） |
| 3位 | 「さるのこしかけ」（さくらももこ／集英社） |
| 4位 | 「明け方の夢（上·下）」（シドニィ·シェルダン／アカデミー出版） |
| 5位 | 「世紀末クイズ（1·2·3）」（笑っていいとも編／扶桑社） |
| 6位 | 「真夜中は別の顔（上·下）」（シドニィ·シェルダン／アカデミー出版） |
| 7位 | 「ストリート·ファイターII」（ファミリーコンピュータマガジン編集部編／徳間書店） |
| 8位 | 「たけし·逸見の平成教育委員会」（平成教育委員会編／扶桑社） |
| 9位 | 「ロマンシング　サ·ガ（徹底攻略編·基礎知識編·完全解析編）」（キャラメル·ママ編／ＮＴＴ出版） |
| 10位 | 「国境の南、太陽の西」（村上春樹／講談社） |

全国出版協会出版科学研究所

▲「それいけ×ココロジー」（1070円）

▲「たけし·逸見の平成教育委員会」（1068円）

▲「複合不況」（800円）

問題の答え　四字熟語の完成＝針小棒大、大胆不敵、青天白日、唯一無二　反対語の完成（例）＝雑然—整然、直線—曲線、主観—客観

## スターと名場面

# 周防正行・大林宣彦監督のさわやかな青春映画が好評

周防正行監督が「ファンシイダンス」に次いで、モックンこと本木雅弘主演で撮った「シコふんじゃった。」が話題を呼んだ。大学で単位を取るために弱体相撲部に入った本木が、仲間の面々とともに奮起して猛稽古に励む……というスポ根もの。徹底的に明るくユーモラスなタッチの描写で、さわやかな印象を残した。竹中直人や柄本明の演技も際立った。

また大林宣彦監督も、エレキギターを素材にした青春映画「青春デンデケデケデケ」を撮った。芦原すなおの直木賞受賞作を映画化したもの。それぞれ家庭の事情や悩みを抱えながら田舎で生活する高校生たちが、自分たちのロックバンドを作り、演奏会をめざして地元の神社などで練習に励むというストーリーで、青春時代の甘酸っぱい感覚が漂っていた。

スタジオジブリのアニメも好調で、宮崎駿が、みずから原作・脚本も手がけた「紅の豚」がこの年最高の興行成績をあげた。今は魔法にかかって豚になっている、一匹狼のパイロットが主役。彼と別の凄腕パイロットとの一騎打ちをストーリーの軸に据え、どこか陰のある美女との淡い恋や、自分にあこがれる少女との交流を織りこんだ作品で、映像のみならず、会話も洒落たおとなのアニメだった。

大映提供

▲「シコふんじゃった。」の主役として好演した本木雅弘。

▲「青春デンデケデケデケ」で、なかなか練習する場所がなく、近所の神社にも進出した高校生バンドの面々。

▶かつては人間のパイロットだった豚の声（森山周一郎）も、魅力的だった。

スタジオジブリ提供

## モノ語り'92

# 人気は"生"志向！「日清 ラ王」「グッドアップブラ」、AMステレオ対応「CR-D60」

◀**「落ちない口紅」ブームが起こった**　この年2月、鐘紡が発売した「テスティモ·ルージュII」は、従来の口紅より持ちがよく、食事をしても落ちない口紅として爆発的な人気を呼び、9ヵ月で350万本も売れた。超高分子アルギン酸という物質で唇に密着するベールを作り、そこに色素を保たせた。これをきっかけに「落ちない口紅」ブームが起こり、同タイプの口紅が各メーカーから発売された。価格は税別で1本3000〜3500円だった。

▶**ナイター中継がリアルになった**　この年の春から、各地区でＡＭのステレオ放送が開始され、ほぼ同時に発売されたアイワのＡＭステレオ対応ラジオ「ＣＲ－Ｄ60」が、発売と同時に売り切れ状態を続ける人気を呼んだ。スーツのポケットにおさまる名刺サイズの超小型·薄型ボディと、ナイターの実況中継が臨場感たっぷりに楽しめる性能が、サラリーマンに喜ばれた。価格は税別で1万2500円だった。

▶**生タイプのカップラーメン登場**　生タイプ麺の流行にカップラーメンも続いたが、この年9月に日清食品から発売された「日清　ラ王」は、後発ながら圧倒的シェアを占めた。生タイプは中華麺本来の味を失うリスクがあったものの、独自の技術で、歯ごたえのある生タイプ中華麺を開発したもの。液体と粉末の2種類のスープに、新鮮な野菜の具を加えた味も評判となり、発売1年で100億円を売り上げた。価格は税込みで250円だった。

◀**頑丈な時計に人気集中**　"10メートルの高さから落としても壊れない腕時計"として昭和58年にカシオ計算機から発売された「Gショック」が、この年、前年の3万本から15万本へと急激に売り上げを伸ばした。米国西海岸のスケーターがファッションアイテムとして取り入れ、日本でも注目されるようになった。写真は平成4年発売のDW-6100GＪ-1モデル。価格は税別で1万4000円。

▲**使用感のよいブラジャーが美しく**　この年の2月、ワコールから「グッドアップブラ」が発売され話題になった。乳房を寄せて谷間を作り、胸をきれいに見せる機能のあるブラジャーで、アモルファス金属繊維と0.9ミリの極細ワイヤーを使用して開発に成功し、ロングセラーとなった。価格は税別で4800円。

▶**おじさんでも撮りやすいビデオ**　世界初の液晶画面つきビデオカメラ「液晶ビューカム　ＶＬ－ＨＬ1」が、この年の10月、シャープから発売され、わずか2ヵ月で5万台を突破するヒット商品となった。ファインダーをのぞく代わりに、大型のカラー液晶モニターを見ながら撮影できるというもので、「撮るビデオ」から「撮って見るビデオ」へと進化した、第2のビデオカメラ時代の先駆け商品となった。価格は税別で21万円。

◀**身のまわりの商品がゲームの素材に**　平成3年にエポック社から発売されたゲームのシリーズ第2弾として、この年の7月「バーコードバトラーII」が発売され、年内だけで90万台以上を売るヒットを飛ばした。商品についているバーコードを利用して遊ぶバトルゲームで、小学生の間では大会も開かれるほどの人気だった。価格は税別で7800円だった。

人物クローズアップ

# 伊丹十三（五九）「ミンボーの女」封切直後に暴力団員に襲われて重傷！

平成四年五月二二日の午後八時四〇分頃、映画監督の伊丹十三（五九）が、自宅マンション前の駐車場で暴漢に襲われ、重傷を負うという事件が発生した。

襲われたのは、ちょうど車からおり、後部座席から荷物を取ろうとした時だった。暗がりから数人の男が飛び出し、いきなりおさえつけ、斬りつけてきたのである。伊丹は逃げようとする男たちを追ったが、彼らは待たせてあった車で逃走した。

顔面からしたたる血をおさえ、焼けつくような痛みをこらえながら、伊丹は自力で自宅にたどり着いた。傷は、顔の左側二ヵ所と首、それに左手に二ヵ所の計五ヵ所。伊丹によると犯人は三人で、いずれも黒っぽい上下を着ており、一人は野球帽をかぶっていたという。しかし、この年一二月、事件にかかわった五人の暴力団組員が逮捕されたことから、実際に犯行に加わったのは五人であることがわかった。

伊丹は、暴力団の民事介入をテーマにした映画「ミンボーの女」を製作し、それが五月一六日に封切られたばかりだった。

事件から三日後の五月二五日、彼は入院中の病院で次のようなメッセージを発表する。「何者の犯行かはわからないが、表現の自由に対する悪質な挑戦と受け止めている。私はこの程度のことではくじけない」。そして、暴力団に対する市民の勇気がくじけることを最も心配している、とも語った。

伊丹十三は、昭和八年五月一五日、京都市右京区鳴滝泉谷町生まれ。本名は池内義弘。父は、「国士無双」「赤西蠣太」などで知られる映画監督の伊丹万作。義弟に、作家の大江健三郎がいる。

昭和二九年上京。新東宝編集部を経て、商業デザイナーとなった。映画界に入ったのは三五年で、大映東京に入社。伊丹一三の名で、枝川弘監督「嫌い嫌い嫌い」に主役デビューした。以降は脇役にまわり、いくつかの作品に出演するが、三六年に大映を退社。三八年、アメリカ映画「北京の55日」に、日本の軍人の役で出演。続いて四〇年には、イギリス映画「ロード・ジム」でピーター・オトゥールと共演し、国際俳優としての名を高めた。四二年には十三に改名、映画俳優のほか、文筆家としても高い評価を得ることになる。

伊丹が本格的に映画監督としてデビューしたのは、昭和五九年の「お葬式」である。妻・宮本信子の父の葬儀をヒントにしたこの作品は、この年の映画賞を総ナメにするとともに、映画監督・伊丹十三の名を確固たるものとした。以降、「タンポポ」（六〇年）「マルサの女」（六二年）と作品は次々にヒットし、次第に彼の映画製作の方向は、社会悪の告発に向けられていく。

「ミンボーの女」は、脱税者の告発を扱った「マルサの女」に続く、暴力団の横暴を告発する作品だった。

事件を知った時のことを、映画評論家の白井佳夫氏はこう語る。

「それはもう大変なショックでした。映画関係者のすべてがショックで、こうしたことってありなの、と思いながらも、十分な表現ができなくなったのは事実です。その後も毅然として立ち向かった伊丹さんの姿勢は、みごとなものでした」

その翌年も伊丹へのいやがらせは続き、映画「大病人」を上映中の映画館のスクリーンが、右翼団体の男に九メートルにわたって切られるという事件が起きている。

伊丹の訃報は突然のものだった。平成九年一二月二〇日、事務所のあるマンションからの飛び降り自殺。まだ六四歳だった。

▼「ミンボーの女」ポスター。ヤクザによるゆすり、たかりなどの民事介入暴力（ミンボー）専門の女性弁護士（宮本信子）が主人公だった。

◀「お葬式」の一場面。中高年層を中心に幅広い観客の動員が大ヒットにつながった。左から菅井きん、大滝秀治、山崎努。右端、宮本信子。

伊丹プロダクション提供（上も）

▶平成四年五月三〇日、退院後の東宝本社での記者会見で、インタビューに答える伊丹十三。右は、傷でまだ不自由な左手にコップを持たせる信子夫人。

毎日新聞社

決定的瞬間

# 死者五八人、被害七億ドル！ロス暴動で“暴徒”たちはなぜ韓国人街を襲撃したか

◀1992年4月30日、暴動による放火で炎上するロサンゼルス・サウスセントラル地区のショッピングセンター。暴動は、全米各地に飛び火した。

AP WWP

一九九二年四月二九日、午後四時頃から始まった米国西海岸・ロサンゼルスの暴動は、夜に入ってサウスセントラル地区（黒人貧困層、ヒスパニックなど五二万人が住む）一帯に広がり、韓国人が経営する商店一五〇店舗が放火・略奪された。翌日には隣接する韓国人居住区（二二万人）にも波及。ショックを受けた韓国人たちは、自警団を組織し、バリケードを築き、屋上にはライフルや猟銃を持った男を配置して、略奪者に対抗した。

ロサンゼルス市全体で死者五八人、重軽傷者二三〇〇人以上、放火による火災は五〇〇〇件、被害額は直接的被害だけで七億ドル（約九〇〇億円）以上。人種暴動とはいえ、今回の大騒乱は、従来の黒人対白人の争いとは異なる意外な展開を見せた。

ロス暴動の直接の原因は、前年三月に起きた「ロドニー・キング事件」に由来する。四人の白人警察官が、スピード違反で捕まえた黒人青年、ロドニー・キング（当時・二七歳）を警棒で五六回も殴り、重傷を負わせたのだ。この模様はビデオで全米に流されたが、誰が見ても「公務員職権乱用」は明らかである。ところが、四月二九日、暴動の日に申し渡された判決では、「無罪」という結果が出た。陪審員一二人のうち、白人が一〇人である。判決を聞いた黒人たちは、「何でホワイト・コップたちは全員無罪なんだよ」と怒りをあらわにした。

判決から一時間もたたないうちに、サウスセントラル地区の交差点で、白人のトラック運転手が黒人に車から引き出され、煉瓦で頭を殴られ血まみれになった。この襲撃事件をきっかけに、抗議行動は放火・略奪へと変質していった。夜になってさらに騒ぎは拡大し、トーマス・ブラッドリー市長（七五）は「非常事態宣言」「夜間外出禁止令」を出すにいたる。翌四月三〇日には、暴動は韓国人街へと移動。韓国人居住区（コリアンタウン）や日本人の多いリトル東京にも強い衝撃を与えた。

▲韓国系青果店の屋上で、ライフルや猟銃をかまえて警戒中の韓国人自警団。

AP WWP

▲白人警官に集団暴行されるキング青年。市民がビデオに収録。

CNN ロイター サンテレフォト

四日間にもおよぶ放火・略奪に参加したのは、黒人のほか多数のヒスパニック系住民で、酒、衣類、食料品、紙おむつなど、安価な生活必需品が奪われた。ここにも彼らの追いつめられた貧しさが浮きぼりにされている。では、本来は白人に対する怒りが、なぜ韓国人商店への放火・略奪へとつながったのか。

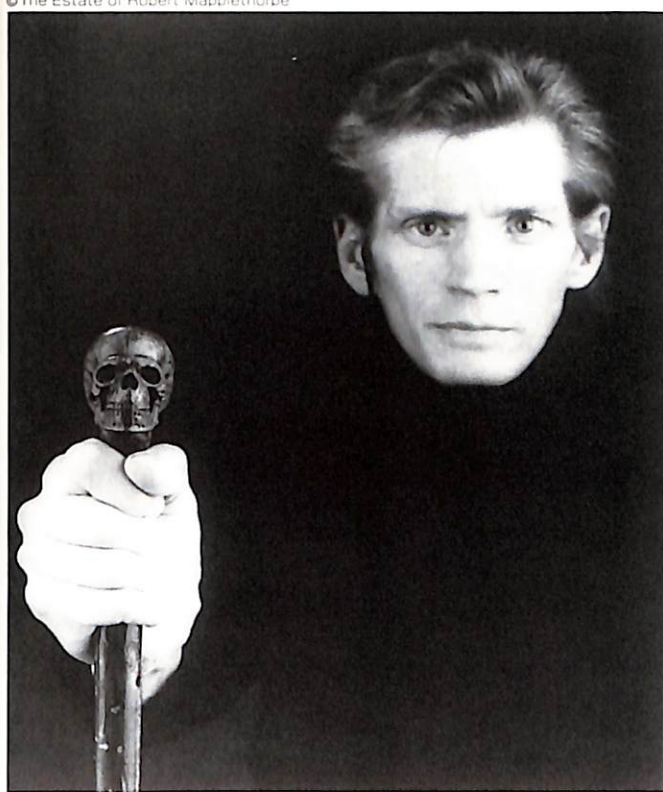
ロサンゼルスの街は、低所得者層が中心部に、富裕層ほど郊外へというドーナツ状に構成されている。黒人の貧困層が住む中心部では、韓国人が黒人相手の商店を経営している。こうした商店は本来、白人（ユダヤ系）が経営していたものだが、治安の悪さから郊外に逃げ出してしまい、一九七〇～八〇年代に韓国人移民たちが入ってきたのだ。犯罪多発地区というリスク（店の保険料金が高いなど）のため、物価は郊外よりも高く、成功した韓国人は居住区からベンツに乗って商店に出勤していた。

その一方、黒人たちは“韓国人に搾取され、馬鹿にされている”と感じていた。ロス暴動で韓国人商店が襲われた背景には、このような黒人層の韓国人に対する不信感があったのである。

しかし、視野を広げてこの暴動を眺めると、レーガン政権時代（一九八一～八九年）の経済政策で貧富の格差が広がり、最貧困層は教育水準の低下、家庭崩壊、麻薬、犯罪と出口のない袋小路へと追いつめられていたのだ。ヒスパニック系の人々が多数略奪に加わったことを考えると、「人種差別というものを前面に出しながら、あらゆる人種を巻き込んだ“持たざる者”の反乱だった」（石川好「ELLE JAPON」一九九二年七月五日号）という見方もできよう。

# 美の出会い

# 人間を花を静物を追求したアートとしての写真の数々
# メイプルソープ展の衝撃！

◀「セルフ・ポートレート」。1988年。数多くあるセルフ・ポートレートの中でも、最後のこの写真だけは、自分の顔にピントがあっていない。

平成四年六月二日から七月二日まで、東京都庭園美術館で、ロバート・メイプルソープ展が開かれた。「同性愛」を生涯のテーマとして追求したアメリカの写真家・メイプルソープが、エイズのため四二歳で没してから、三年が経っていた。

メイプルソープの写真展は、日本では昭和五七年に東京の画廊「ギャルリー・ワタリ」で開かれたのを皮切りに、画廊や百貨店のギャラリーなどで紹介されていたが、スキャンダラスなイメージがつきまとっていたため、一部の熱狂的なファンの間で話題にされていただけだった。しかし、この年の展覧会は公立美術館による初めての展覧会ということで注目されたせいか、入場者数四万八五三七人という大盛況のうちに終わった。

同展は引き続き翌平成五年にかけて、水戸芸術館現代美術ギャラリー、神奈川県立近代美術館、滋賀県立近代美術館を巡回し、いずれも成功をおさめた。個人の写真展といえば、訪れるものは写真家をめざす若者や関係者、一部のマニアに限られていたが、今回のメイプルソープ展は、若いカップルや家族連れまでが訪れ、予想外の人気を集めたのである。

出品作は、初期のコラージュからセルフ・ポートレート、女性ボディー・ビルダーのリサ・ライオンや黒人女性のヌード、肖像、花、静物など一六七点。公立の美術館での開催ということで、作品の選定には制約があり、倒錯的な性愛を表現したもの、性器があらわに写し出された作品は出品されなかった。だが、メイプルソープの生涯の仕事が丁寧に選ばれており、観客には十分に納得のいくラインナップとなった。

現在、青森県の縄文遺跡を撮影しているカメラマン・立花昇一氏は、東京・麻布の仕事場からこの展覧会に駆けつけ、強いショックを受けた一人である。

「リアリズムとか記録とかという次元ではなく、アートとしての写真を見せられましたね。そこには、まったく新しい風が吹いていました。モノクロのトーンの美しさ、フレーミングのセンスのよさ、計算しつくされた完璧な技術——一歩も二歩も先を進んでいました。本当にショックでした」

メイプルソープのプリントは、プロカメラマンをもうならせる卓越したテクニックとセンスで、妖しいまでに美しい。アンダーグラウンドで流通していたSM写真でさえも、メイプルソープの美的センスにかかると、古典的なまでに端正な表現を与えられる。彼によるSMシーンが白日のもとにさらされた時、これを見たものは人間の真実があらわにされる危険性を感じ、一時センセーショナルな話題を巻き起こしたこともある。

ロバート・メイプルソープは一九四六年一一月四日、ニューヨークのクイーンズに生まれた。一九六三年にブルックリンに移り、絵画や彫刻を学び、性的なイメージの強いコラージュや立体作品を制作していた。写真を手がけるようになったのは、一九七〇年にポラロイドカメラを手にしてからである。同性愛やSM写真を集中的に撮り、頻繁に個展を開いた。こうしたテーマは、当然のごとく批判され、スキャンダルとなり、結果としてメイプルソープを有名にした。

メイプルソープの作品について、日本大学芸術学部写真学科教授・澤本徳美氏は、展覧会カタログに記している。

「メイプルソープの人間を被写体にした写真は、ヌードか否か、男性か女性かは問題ではなく、人間をノーマルな性をもった生物として見るか、倒錯的な性の対象として見るかをギリギリのところまで追い詰めながら、『人間とは何か？』、あるいは『生命とは？』を探ろうとしているといえよう」

メイプルソープの表現技術は、人物から花へ、そして静物へと対象を広げていき、ますます研ぎ澄まされていった。しかし、彼は一九八六年にエイズと宣告され、一九八九年三月、わずか四二歳で死去する。その前年、エイズ撲滅と、芸術としての写真の重要性を認識させることを目的としたメイプルソープ財団を設立。財産の一部を財団に寄付していた。

◀「オーキッド」。一九八九年。メイプルソープの花は、見るものに美的快感だけでなく、同性愛者を見つめるのと同じ視線を感じさせる。



◀「パティ・スミス」。一九七六年。詩人でパンク歌手のパティ・スミスとは、一九六七年に出会い六九年までブルックリンで共同生活を続ける。生涯、変わらぬ理解者として共同の仕事を何度も行った。

20世紀博物館

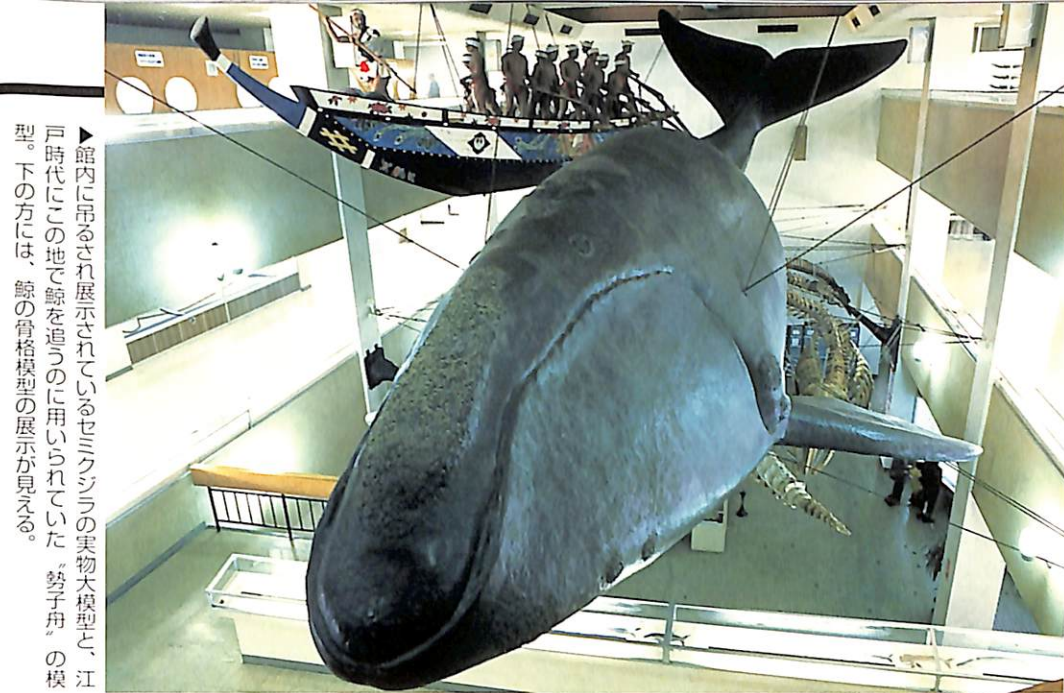
# 太地町立くじらの博物館

和歌山・太地町

## 厳しい規制の中、鯨獲りの本場で〝食べること〟の意味を問いかける

桑原茂夫

「くじらの博物館」がある太地町は紀伊半島の南端に位置する町で鯨獲りの本場である。江戸時代から鯨を獲る技術を開発し、磨き抜いてきた。逆に言うと、鯨を獲ることで生活を成り立たせてきた町なのである。

▶館内に吊るされ展示されているセミクジラの実物大模型と、江戸時代にこの地で鯨を追うのに用いられていた〝勢子舟〟の模型。下の方には、鯨の骨格模型の展示が見える。

太地町立くじらの博物館提供（右下も）

しかし昭和四〇年代に入ると、捕鯨の規制が厳しくなり、捕鯨全体にかげりが見え始めた。太地町もその影響からまぬがれえず、町全体から次第に活力が失われていった。そこで、太地町は、町を元気づける第一歩として〝捕鯨〟を真正面から見つめなおすことにした。その成果が、江戸時代の捕鯨を調査・研究した『熊野太地浦捕鯨史』の編纂であり、収集した捕鯨に関する歴史的資料や、鯨類の研究資料を展示する博物館の建設だった。そして昭和四四年、ついに町立の「くじらの博物館」が開館したのである。

江戸時代に開発された〝古式捕鯨〟の実際と、鯨類の生物学的・生態学的研究の成果が館内展示の二本柱で、そのほか館外には、南氷洋で活躍していた捕鯨船（キャッチャーボート）の実物や、鯨やイルカなどを飼育する自然プールなどがあって、さまざまな角度から鯨を知り、鯨と親しむように構成されている。

太地町に伝わる古式捕鯨は、一七世紀に武士出身の和田頼元とその孫の頼治によって完成された。三〇〇人からの村人がチームを組んで舟に分乗し、鯨を湾内の網に追いこみ、モリで捕獲するという方法で、これはその後、日本列島各地に広がって長く採用された。

▲太地町に伝わる、江戸時代の古式捕鯨の絵図。村人たちが舟に分乗し、鯨を追いこみ、モリを投げこもうとしている。

この捕獲方法は、館内に入ってすぐのジオラマで、わかりやすく立体的に展示されている。この漁法で鯨を追う〝勢子舟〟の模型が、実物大のセミクジラとともに天井から吊るしてあるのも、実感をともなう展示となっている。

こうして捕獲した鯨は、村の人々にとって貴重な食料となっただけでなく、植物を育てる肥料や、工芸品の材料などとしても用いられ、ほとんど捨てるところのない優れた生活資源でもあった。南氷洋において商業的利益追求のために過激に行われた一時期の捕鯨とは、明らかに一線を画する本当の捕鯨の、その最も素朴な姿がここにはある。

▲別館の捕鯨船資料館。写真は、実際に南氷洋などに行っていたキャッチャーボートの「第11京丸」で、砲手を含む25人の乗組員がチームを組んで、鯨を追い、捕獲していた。

館長の北洋司さんは、昭和六〇年代に商業捕鯨禁止で大揺れした時、町長の側近として町の苦悩を目のあたりにしてきた人である。北さんは言う。「食料の生産現場や、食べ物の素材が見えにくくなってきた今こそ、人とほかの生物との共存関係や〝食べる〟ということを、総合的に、真摯な態度で考えなければならない」と。そして、鯨についていろいろなことを知ってほしいし、考えてほしい、そのためにこの博物館はあるのだ、とも強調している。

ここは、食べることの意味を根本から問いかける博物館でもあった。

●太地町立くじらの博物館
和歌山県東牟婁郡太地町大字太地常渡二九三四—二
☎〇七三五—五九—二四〇〇
JR太地駅からバスで博物館前下車、徒歩八分
開館時間＝八時半～一七時
休館日＝無休
入館料＝一般一〇五〇円（ラッコ館、捕鯨船資料館、マリナリュウム、熱帯植物園と共通券）

▲「くじらの博物館」は、町おこしで整備された「太地くじら浜公園」にある。3階建てで延べ床面積2000平方メートルを超える、世界最大規模の鯨類専門博物館である。



# 「1通の手紙」があかした日本共産党名誉議長の裏切り
## 戦前、同志を密告したと「除名」処分に
# 野坂参三のもうひとつの〝顔〟!

◀平成4年7月。除名の5ヵ月前、日本共産党の創立70周年記念招待会で、内外での長年の労をたたえられた野坂参三だったが。
読売新聞社

平成四年一二月、日本共産党の〝顔〟として同党の議長を永年つとめた野坂参三が、戦前に同志をスパイの疑いで告発していたことが発覚、除名された。ソ連の崩壊により公開された文書の中から、半世紀を経て、「岡野進」名の一通の書簡が発見されたためだ。

### 「解任」決議に凍りついた共産党中央委員会総会

「党員たちは、うすうす予想してはいました。それでもやはり大きなショックで、会場は一瞬凍りついたといいます」

平成四年九月一七日、東京・渋谷区の日本共産党本部で開かれた中央委員会総会の決定を、飯塚繁太郎日大教授（元・読売新聞記者）はこう語った。

この日の会議には、久しぶりに野坂参三名誉議長の姿があった。すでに満一〇〇歳に達していた野坂は、九〇歳で議長を宮本顕治（八四）に譲り、事実上、党の第一線から退いていた。にもかかわらず姿を見せたのは、自身にかかわる重大な議案が審議されるためだった。重大な議案とは、野坂自身の解任決議である。

解任の提案者は、不破哲三委員長（六二）だった。目と耳が不自由な野坂は補聴器を耳にあて、〝通訳〟が耳元に大声で繰り返す提案の骨子を聞いた。野坂は「発言することはない」とだけ述べた、という。野坂の解任理由は、一九三〇年代のスターリンの大粛清時代に、同志の山本懸蔵（死亡当時・四四歳）をスパイと密告し、処刑の道を開いたというもの。

発端は平成四年八月に始まった「週刊文春」の連載で報じられた、半世紀以上前に書かれた一通の書簡だった。この「岡野進」名の英文タイプの手紙の日付は昭和一四年二月二二日、宛先はディミトロ

▶昭和二一年一月、野坂の中国からの帰国時に行われた「帰国歓迎国民大会」。三万人が集まった。

▲昭和36年10月、ソ連共産党第22回大会で演説する野坂参三（下段中央）。当時、彼は日本共産党中央委員会議長だった。中段左端、フルシチョフ・ソ連首相。

フ、当時のコミンテルン（国際共産党）書記長だった。「岡野」は野坂の偽名だった。極秘のスタンプの押された手紙の趣旨は、こうである。

「多少なりとも田中に疑惑がかかるすべての事実をあなたに知らせることが、私の義務であると思いました」

「田中」とは戦前の日本共産党の有力幹部で、プロフィンテルン（国際赤色労働組合）日本代表だった山本のことだった。野坂は山本に関する疑念を列記して「告発」したのである。書簡が書かれた直後の昭和一四年三月一〇日、山本は銃殺された。野坂の書簡と山本の裁判の因果関係は、裁判記録が発掘されていない今、かならずしも明確ではない。だが、山本はスターリン批判の中で、昭和三一年五月、潔白とされ、名誉を回復している。

ところが、野坂は自分が告発したことについては、その後もいっさい口を拭っていた。彼の自伝『風雪のあゆみ』（昭和六四年刊行）の中では、逆に同志の安否を憂え、心を砕いたかのように記述していたほどである。

野坂は戦後の共産党を代表する〝顔〟である。共産党は大正一一年に創立され、野坂「除名」の年、平成四年には創立七〇周年を迎えた。野坂は創立直後の共産党に入党し、文字どおり終生を党とともに歩んできた。

戦前はイギリス、アメリカ、ソ連、中国で活動し、コミンテルン日本代表となった。また、日本の敗戦直後の昭和二一年一月、中国からの帰国時には、日比谷で凱旋将軍を迎えるかのような三万人の大集会が開かれた。ここで野坂が提唱した「愛される共産党」は、一世を風靡する流行語となる。まさに野坂は「獄中一八年」の徳田球一（書記長）、志賀義雄（幹部会員）と並ぶヒーローとなったのである。そして野坂は、徳田書記長のもと、政治局員を皮切りに、いわゆる「五〇年分裂」後は第一書記、昭和三三年から二四年間、中央委員会議長をつとめるなど、共産党のトップだった。

共産党は、解任の三ヵ月後、一二月二七日に野坂を「スターリンの不当な弾圧に加担」し「明白かつ重大な党規律違反」をしたと断定、共産党の処分としては最高の「除名」を決議する。

## 山本密告の動機は保身 〝生き残った男〟の光と影

共産党の歴史は一面では「離党」「除名」の歴史でもある。戦後だけを見ても、伊藤律（政治局員）、志賀義雄、神山茂夫（中央委員）、中野重治（中央委員）など大物党員が、順次、「離党」「除名」などで党を離れた。だが、それらは、ほぼ路線をめぐる対立によるものだった。しかし、野坂の場合はそれらと決定的に様相が異なっていた。

スターリン時代は、帝国主義のスパイの摘発が大きな課題となっていたことは否めない。また、多くの体験者が書き残しているように、密告が奨励されていただけでなく、積極的な密告が見られないものがそれだけの理由で処刑された例も少なくなかった。野坂も、解任後の日本共産党の調査に対し、「自己の保身」が書簡を書いた大きな動機だと語っている。

野坂の除名劇の口火を切った『闇の男——野坂参三の百年』の共著者で、ジャーナリストの小林峻一氏が言う。↖



▲昭和55年8月、元日本共産党政治局員の伊藤律（当時·67歳）の生存が中国で確認され、同年9月、29年ぶりに帰国した。かつて党内で絶大な権力を振るった闘士も、すっかり衰弱していた。平成元年、死去。

▶山本懸蔵。大正初期からの労働運動家で、大正七年、米騒動の際にも活躍。

共同通信社（右も）

「山本懸蔵を売り渡したのが野坂だということは、ソ連崩壊がなければ表面化しなかっただろう。確証はつかめないが、野坂の生涯を子細に検討すると、何重スパイの可能性も色濃く匂ってくる」

多くのスパイがそうだったように、野坂もアメリカやソ連などのダブルスパイ、トリプルスパイだったのかもしれないと言うのである。

『闇の男』では、野坂がソ連の秘密警察NKVD（後のGPU、KGBの前身）のスパイだったことは、ほぼ明らかにできた。だが、そのほかにも、昭和三年の『三・一五事件』で逮捕された野坂は二年後に眼病を理由に保釈されて、その後、非合法的に出国している。当時の共産党は『スパイM』こと飯塚盈延が牛耳っていた時代だったことを考えれば、この時点で野坂が当局との接触を持っていた可能性も否定できない」

一方、作家のいいだ・もも氏は、野坂の行為をすべて肯定するわけではないが、と前置きしたうえでこう言う。

「野坂のモスクワ滞在中の恐怖政治・密告社会の状況は想像を絶するものがあり、相互の疑心暗鬼は極限に達していた。その中で日本人活動家の間でも、片山潜は山本を疑い、山本はドイツで活動してソ連に入った国崎定洞を疑い、野坂の妻・竜は山本によって売られた。まむしのつるみ合いのような状況だった。こうした中で、最後まで生き残った野坂だけを断罪するのでは、事態の全容を歪ませてしまうのではないか」

野坂自身は、特に弁明することもなく、日本共産党の処分を甘受したまま、平成五年一一月一四日、老衰で一〇一年の生涯の幕を閉じた。

▲昭和22年1月、野坂参三（右から二人目）より1年遅れて、妻·竜（その左）が17年ぶりにモスクワから帰国した。野坂の告発に、竜が関係しているという推測が一部にはある。右端は、当時の書記長·徳田球一。

## フォト＋日録で再現する366日

共同通信社

▲**金丸信副総裁、辞任(8月27日)**佐川急便事件にからむ5億円受領の責任をとった。後に竹下政権誕生時の「皇民党事件」で暴力団と関係したことも発覚、10月には議員辞職。

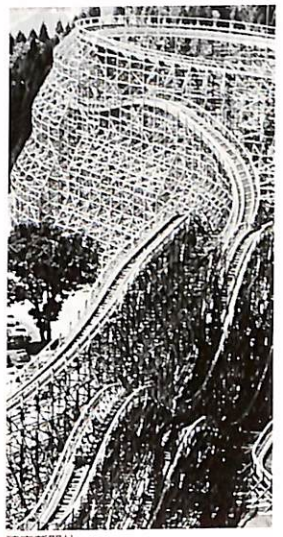
ロイター／サンテレフォト

▶**マフィア摘発の責任者、爆殺(7月19日)**シチリア島で5人の警察官とともに死亡。イタリアではマフィアによる政治家・判事などの暗殺が続発、政府は撲滅作戦を展開中だった。

共同通信社

▲**また中国から密入国者(7月29日)**室戸岬沖を漁船で3時間にわたって逃げまわったすえ、ついに観念。乗員・乗客88人は、いずれも中国・福建省出身。この年相次いだ集団不法入国事件のひとつ。

読売新聞社

◀**敦賀の高速増殖炉「もんじゅ」にプルトニウム到着(7月7日)**安全面で各地の住民の批判を受けながら、東海村から東京を経て陸路600キロを運搬。国際的には、輸送の秘密保持が問題視された。

読売新聞社

◀**日本初の木造ジェットコースター登場(7月21日)**大分県別府市の遊園地で営業開始。最大高42メートル、全長1.6キロ、最高時速90キロ。微妙なきしみと揺れが特徴だった。

▼**岩崎恭子ちゃん、史上最年少の金！(7月27日)**バルセロナ五輪200平決勝で2分26秒65の五輪新記録。最後の5メートルでトップに立った14歳の力泳に、日本中が沸いた。

毎知新聞社

### 証言・あの日この日

## 向井万起男(45)

毎日新聞社

**10月17日(土)**〈朝9時頃だったが、私たち二人は、まだパジャマ姿でくつろいでいた。電話が鳴った。その瞬間、私は、来た！　と思った。／受話器を置いた女房は、「やった！　やった！　マキオちゃん、とうとう決まったよ！」と言いながら、嬉しそうに跳ね回った。／その電話は、NASAからの連絡を受けた宇宙開発事業団からのものだった〉(向井万起男『君について行こう』)

慶応病院に勤務する医師の向井万起男は、この日、土曜日で久しぶりに妻と二人でくつろいでいた。妻は宇宙飛行士・向井千秋。アメリカでの任務を終え、帰国してから5日目のことであった。そこへ、突然電話が飛びこんできた。それは、妻・千秋がアジア人女性初の宇宙飛行士として、搭乗が決定したという報せだった。妻は再び渡米し、またまた長期別居生活へ。　(山崎行太郎)

▼**韓・中が国交樹立(8月24日)**社会主義諸国に対する関係改善をめざす韓国が、旧ソ連に続き中国とも握手、北朝鮮を包囲する「北方外交」を完成させた。写真は、北京での韓国の李外相(左)と中国の銭外相。

AP／WWP

読売新聞社

▲**「ゴジラ」5連続四球(8月16日)**夏の甲子園高校野球で明徳義塾が、星稜高4番・松井秀喜を徹底敬遠、1点差で辛勝。史上2回目の珍事に、賛否両論。

読売新聞社

▶**有森裕子、銀(8月1日)**五輪女子マラソンでゴール近くまでデッドヒート。日本女子陸上に、人見絹枝以来、実に64年ぶりのメダルをもたらした。

ロイター／サンテレフォト

▲**連立政権を訴えるマンデラ(8月5日)**南ア最大の黒人組織、アフリカ民族会議議長がプレトリアで演説。ゼネストを背景に、政府に民主化交渉再開を迫った。

▶**ネオナチ、難民収容所を襲撃(8月22日)**旧東独北部・ロストクで約150人が石や火炎瓶を投げ、住民多数も応援。背景に、統一後の経済不安と大量失業。

ロイター／サンテレフォト

### 平成4年7月

1(水)●東京─山形のミニ新幹線「つばさ」開業。

2(木)●横浜地検、東海大附属病院安楽死事件で元助手を殺人容疑で起訴。

3(金)●中国、世界で初めて朱鷺の人工孵化に成功。

4(土)●パリ郊外でバス横転。邦人約三〇人負傷。

5(日)●IMF専務理事、ロシア首相代行に融資約束。

6(月)●茨城県東海村から敦賀市の高速増殖炉「もんじゅ」へ初のプルトニウム燃料輸送。

7(火)●ミュンヘン・サミットの政治宣言に、日本の北方領土問題が初めてもりこまれる。

8(水)●十條製紙と山陽国策パルプが九三年春の対等合併を発表。

9(木)●通産省、輸入品購入拡大のアイディア募集。

10(金)●ポーランド、初の女性首相・スホツカを選出。

11(土)●マレーシアの高裁が、三菱化成系会社に放射性物質の健康被害で操業停止命令。

12(日)●トヨタ自工、クライスラーから部品購入発表。

13(月)●漫画家の故・長谷川町子に国民栄誉賞決定。

14(火)●運輸省、リニア山梨実験場の一部建設を決定。

15(水)●今給黎教子、鹿児島に入港し、日本女性初のヨット単独無寄港世界一周達成。

16(木)●国際数学五輪で高三の児玉大樹、初の金賞。

17(金)●本田技研、平成五年からのF1撤退を決める。

18(土)●大相撲の水戸泉、八七場所目で平幕優勝。

19(日)●漢字能力検定、文部省認定の検定試験に昇格。

20(月)●大蔵省の証券取引等監視委員会発足。

21(火)●産経新聞社取締役会、鹿内宏明会長を解任。

22(水)●ASEAN外相会議、南沙諸島問題の平和解決を決議。

23(木)●囲碁の趙治勲本因坊、小林光一名人を破り、連続四期タイトル防衛。

24(金)●米・ユタ大で、都内の一歳男児の心臓移植成功。

25(土)●バルセロナ五輪開幕(～8月9日)。

26(日)●第一六回参院選で初の即日開票(自民党は改選過半数に、日本新党四議席獲得)。

27(月)●名古屋地裁、戸塚ヨットスクール事件で戸塚宏被告に懲役三年、執行猶予三年の判決。

28(火)●中医協、生体肝移植に健保適用を承認。

29(水)●東証平均株価、終値一万五〇九五円九五銭の年内最安値を更新。

30(木)●旧東独のホーネッカー元国家評議会議長、ベルリンの壁での殺人罪などで逮捕。

31(金)●タイ航空機がカトマンズの山岳地帯に墜落、日本人一八人を含む一一三人全員死亡。

### 平成4年8月

1(土)●有森裕子、バルセロナ五輪女子マラソンで二位、女子陸上のメダルは六四年ぶり。

2(日)●東京医科歯科大で医師らの睡眠薬横流し発覚。

3(月)●クロアチアで独立後初の大統領選挙。

4(火)●群馬・福島・新潟三県が尾瀬保護財団設立合意。

5(水)●春の卒業・入学式での公立校の日の丸掲揚は九割強と文部省。

6(木)●農業のUターン者、前年度比五七・七％増。若者のUターン増は一〇年ぶりと農水省。

7(金)●英国が債務国に転落。

8(土)●福井県勝山市の杉山川左岸でイグアノドンをはじめ恐竜の足跡七九点発見。

9(日)●中国の経済特区深圳で「もうかる株」の申し込みに五〇万人殺到。

10(月)●東京高裁の千葉川鉄公害訴訟で、川鉄側が陳謝し二億六五〇〇万円で和解。

11(火)●日蓮正宗、創価学会・池田大作名誉会長を除名。

12(水)●米・カナダ・メキシコ、北米自由貿易協定に合意。

13(木)●環境庁、日本産朱鷺の中国での繁殖を断念。

14(金)●台湾の元従軍慰安婦二人が台北で初の証言。

15(土)●終戦記念日に一五人の閣僚が靖国神社に参拝。

16(日)●甲子園大会で星稜高・松井秀喜が五連続敬遠。

17(月)●今春採用の大卒事務系の初任給が一九万一二六六円と、初の一九万円台突破。

18(火)●大蔵省、株価低迷対策として株売却抑制などを緊急要請。

19(水)●ベンチャー企業、アスキーの経営悪化判明。

20(木)●坂本春生西友常務、日経連を女性軽視と批判。

21(金)●中央防災会議、南関東直下型で震度六以上のおそれのある七都県二八二町村を明らかに。

22(土)●警察庁、全国一斉に暴走族三四四一人摘発。

23(日)●マラッカ海峡で客船沈没。二人死亡。

24(月)●中国と韓国が国交を樹立。
●米国・マイアミ南部に超大型ハリケーン来襲。

25(火)●桜田淳子ら、統一教会の合同結婚式に参加。

26(水)●環境庁、前年の東京・神奈川・大阪の二酸化窒素濃度が史上最悪と公表。

27(木)●金丸信自民党副総裁、東京佐川急便からの五億円授受を認め、副総裁の辞意表明。

28(金)●政府が一〇兆七〇〇〇億円の景気対策発表。

29(土)●サッカー東アジア大会で日本が海外初優勝。

30(日)●前年度保険医療費、初の一九兆円突破と判明。

31(月)●奈良県天川村、全国初の骨粗鬆症の住民検診。

NASA／共同通信社

▲毛利衛さん(44)、念願の宇宙へ(9月12日)米・スペースシャトル「エンデバー」に搭乗。写真は船内での宇宙授業の様子。無重力状態で、リンゴを投げた。

読売新聞社

▲学校週5日制スタート(9月12日)人事院の公務員週休2日制実施勧告を受け、小・中・高校などで月1回土曜日が休校。写真は、横浜のデパートで行われた初日記念のイベント。

共同通信社

▶朱鷺、人工繁殖失敗(9月25日)日本の2羽のうちの1羽、雄のミドリが2年半ぶり、むなしく帰国。写真左が、期待された北京動物園のヤオヤオ。特別天然記念物絶滅の日が迫ってきた。

ロイター／サンテレフォト

◀ペルー極左ゲリラ、獄中会見(9月24日)最高指導者・グスマン元教授(57)が、リマ県庁中庭に設けた檻から、報道陣に闘争の正義を訴えた。15年前から地下に潜伏し、日本人技術者3人の殺害も彼の指示とされる。

読売新聞社

▼金丸信「略式起訴」にペンキで抗議(9月28日)佐川急便事件にからむ、前自民党副総裁の5億円収受への検察庁処分に憤激。45歳の男が、「正義ない」と検察庁看板にペンキをぶちまけた。

共同通信社

▲「ドラクエV」フィーバー(9月26日)若者たちに人気のゲームソフト「ドラゴン・クエスト」シリーズ第5作が売り出されると、たちまち販売店前は黒山の人だかり。購入後におとし取られる事件も頻発した。

## 平成4年9月

1(火)●金子清新潟県知事、佐川献金疑惑で辞表提出。
2(水)●ロシア大統領、「日本は領土で圧力」と発言(9日、突然13日からの来日延期通告)。
3(木)●マツダが今期四〇億以上の減益と発表。
4(金)●政府、世界遺産リストに白神山地などを推薦。
5(土)●全国の干潟が一三年間で四〇七六ha消失と環境庁発表。
6(日)●総理府調査で「生活向上意識」三年ぶり下落。
7(月)●人間ドック受診で健康は三人に一人と新聞に。
8(火)●東京国立近代美術館フィルムセンター、幻の名作「忠治旅日記」(伊藤大輔監督)入手と発表。
9(水)●雲仙で避難民三〇〇〇人が帰宅。
10(木)●タンザニアで六〇〇万年前の人類の祖先の頭蓋骨発見。
11(金)●阪神―ヤクルト戦で六時間二六分の最長記録。
12(土)●日本人宇宙飛行士・毛利衛の乗ったスペースシャトル「エンデバー」打ち上げ。
●国公立小中高校などで学校週五日制スタート。
13(日)●静岡県御前崎沖で遊漁船と大型貨物船衝突。四人死亡、三人行方不明。
14(月)●宮内庁、奈良・見瀬丸山古墳の内部を初公開。
15(火)●世界銀行、タバコ関連への融資停止を決定。
16(水)●インド東部四州の少数部族、自治州創設を要求し二週間の経済封鎖開始。
17(木)●カンボジアPKO派遣第一陣、呉港を出発。
18(金)●ロッキード事件で若狭得治に有罪確定。
●気象庁、エルニーニョ現象終息宣言。
19(土)●国連安保理、新ユーゴ追放勧告を決議。
20(日)●共産党、戦前の同志告発で野坂参三名誉議長を解任(12月27日、除名)。
21(月)●協和埼玉銀行が「あさひ銀行」に改称。
22(火)●文部省、不登校児の民間施設がよいを学校出席と認める方針を決定。
23(水)●ベトナム大統領にアイン前国防相を選出。
24(木)●朝日放送のテレビ番組「素敵にドキュメント」でやらせ発覚、番組打ち切り。
25(金)●厚生省、小・中学の胸部X線集団検診廃止決定。
26(土)●ミャンマーの戒厳令、三年ぶり解除。
27(日)●盧泰愚韓国大統領、中国を初訪問。
28(月)●パキスタン航空機、カトマンズ南方に墜落。一六七人死亡。
29(火)●ブラジル議会、コロル大統領を汚職疑惑で弾劾裁判にかけることを可決(12月29日、辞任)。
30(水)●米国、フィリピンにスビック米軍基地を返還。



朝日新聞社

▲PKO本隊出発(10月13日)愛知・小牧基地から、陸上自衛隊員376人がカンボジアに出発。これで道路補修などを行う約600人全員が現地入り。いよいよ、PKO協力法に基づく本格的活動開始。

毎日新聞社

▲留学高校生、米国で射殺(10月17日)パーティーの訪問先を間違え、容疑者の「フリーズ(動くな)」を「プリーズ」と勘違い。葬儀で、両親は米国に銃の規制を切望した。

共同通信社

▼ホンダ、F1から撤退(10月25日)昭和39年の初参加以来、「世界のホンダ」を誇ってきたが、本業の不振が響いた。写真は、感謝の額を持つセナ(中央)ら。

共同通信社

▲太地喜和子(48)、事故死(10月13日)巡業先の伊東で、車ごと海へ転落。華やかで情熱的な演技に魅了されたファンは多かった。写真は、文学座の劇団葬。手前は杉村春子。

ロイター／サンテレフォト

朝日新聞社

▲ジャンボ機、9階建てアパートに墜落(10月4日)イスラエルの貨物輸送機が、オランダ・スキポール空港を離陸直後に失速。150人以上が負傷、75人が死亡した。

◀天皇、中国初訪問(10月23日)国交正常化20周年を記念。北京・人民大会堂での楊国家主席(写真左端)主催の晩餐会で、あの戦争は「私の深く悲しみとするところ」と述べた。

## 平成4年10月

1(木)●福岡県北野町、全国初のゴミのポイ捨てに対する罰金条例施行。
2(金)●広島の太田川でシアン検出、四三万世帯断水。
3(土)●東京・八王子署、痴漢騒ぎで根拠がないのに「犯人は外国人」とのチラシを配り問題に。
4(日)●オランダのアムステルダム郊外に貨物機墜落。高層アパート直撃し死者七五人。
5(月)●食糧庁、米国産冷凍寿司輸入を条件つき許可。
6(火)●大阪・天王寺区の二小学校で公立校初の英語の実験授業スタート。
7(水)●ヤオハン、中国でのチェーン店展開発表。
8(木)●東京都の拡声器暴騒音規制条例、成立。
9(金)●巨人軍監督に長嶋茂雄が一二年ぶり復帰。
10(土)●ヤクルト、一四年ぶり二度目のリーグ優勝。
11(日)●米国・ロサンゼルスでブタの肝臓を女性に移植。患者は一日半後に死亡。
12(月)●エジプト・カイロで地震。死者五二〇人。
13(火)●カンボジア派遣PKO本隊三七六人、出発。
14(水)●金丸信、議員辞職、竹下派会長も辞任。
15(木)●東京地裁、都知事交際費の全面開示を指示。
16(金)●千葉県の石油精製所で爆発炎上。一〇人死亡。
17(土)●米国留学中の服部剛丈君射殺される(翌年5月23日、被告に無罪評決)。
18(日)●沖縄の従軍慰安所一二一ヵ所と判明。
19(月)●向井千秋、アジア女性初の宇宙飛行士に決定。
20(火)●厚生省、エイズストップ作戦本部設置。
21(水)●JR東日本、東海道貨物線の通勤線化発表。
22(木)●イトーヨーカ堂が総会屋に二七〇〇万円を渡したとして、商法違反容疑で六人逮捕。
23(金)●天皇・皇后、初の訪中。晩餐会で「中国国民に対し多大の苦難を与えた」と挨拶。
24(土)●群馬大で低温保存精子による体外受精成功。
25(日)●東電、平成六年から混合核燃料海上輸送決定。
26(月)●カナダの国民投票、ケベック州独立防止の憲法改正案を否決。
27(火)●日弁連、外国弁護士規制緩和に慎重対応要求。
28(水)●東京税関、マドンナの写真集を輸入禁止。
●自民党竹下派総会で小渕恵三が会長に。
29(木)●京都市都市計画審、京都駅ビルの高層化承認。
30(金)●日中合同登山隊、ナムチャバルワに初登頂。
●大蔵省、二一行の不良債権は九月末で一二兆三〇〇〇億円と発表。
31(土)●法王・パウロ二世、地動説のガリレオ・ガリレイの破門を三五九年四カ月ぶりに解く。

# 日録 20世紀 1992

## 11~12月

報知新聞社

▲日本サッカー、アジア制覇（11月8日）オフト監督のもと、広島開催のアジア杯で、前回優勝のサウジアラビアを破り、初優勝。厳しいマークの中、勝負強さを見せた三浦知良（右から二人目）がＭＶＰ。

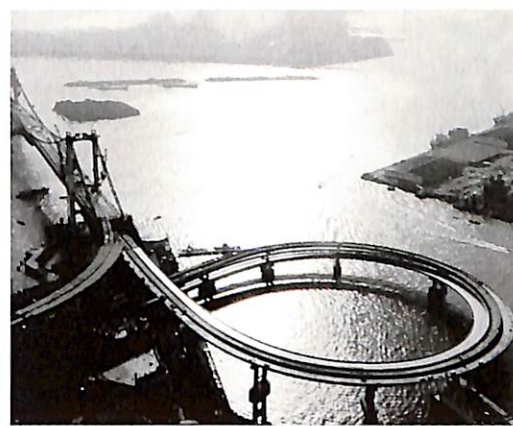
読売新聞社

▲竹下登元首相、証人喚問（11月26日）衆院予算委で、佐川急便事件と「皇民党事件」への関与を全面否定。暴力団との「黒い交際」をたくみにはぐらかした。

▼「カラ出張」で共産党も陳謝（11月17日）兵庫県尼崎市で、出張費での温泉旅行など、市議の公費不正支出が発覚。議員52人のうち31人が関与していた。

共同通信社

共同通信社

▲宝塚大劇場「フィナーレ」（11月24日）雪組「忠臣蔵」、杜けあきのさよならショーを最後に、老朽化のため68年の歴史に幕。以降の舞台は、翌年から新設劇場で行われた。

読売新聞社

▲「レインボーブリッジ」連結（11月5日）臨海副都心―都心間の連絡橋の、橋桁部分が接続。翌年夏の完成をめざした。全長3.75キロ。2階に首都高速、1階に新交通システムを設置した。

読売新聞社

◀油もれしない超大型タンカー完成（11月）日立造船が製造。3年前のアラスカ沖海洋汚染事故を契機に、国際海事機構が義務づけた、「二重船体構造」を世界に先駆け実現。

### 平成4年11月

1（日）●小包郵便料金、平均一七・七％値上げ。

2（月）●釧路湿原で、野火発生。約一一〇〇ヘクタール焼失。
●「佐川事件」公判の検事調書で、竹下政権誕生当時の日本皇民党「ほめ殺し」が明らかに。

3（火）●米国大統領選でビル・クリントン、圧勝（民主党政権はカーター以来、一二年ぶり）。

4（水）●日経連調査、賃金の年俸制導入が七三社に。

5（木）●日本と北朝鮮の第八回国交正常化交渉、「李恩恵」問題などで対立、半日で打ち切り。

6（金）●大学生就職率、五年ぶりに八〇％を割る。

7（土）●プルトニウム輸送船「あかつき丸」、仏のシェルブールを航路極秘のまま出港。

8（日）●アジア杯サッカー選手権で日本が初優勝。

9（月）●日本の航空各社、世界初の国際線事故の無制限補償実施を決定。

10（火）●ＪＲ東海で無資格研修生の新幹線運転が発覚。

11（水）●ＮＥＣ、管理職のボーナスの一部を現物支給。

12（木）●年間の貿易黒字、史上最高の約八八四億ドルに。

13（金）●『国民生活白書』、前年の出生率が過去最低一・五三人の「少子化社会」に警鐘。

14（土）●埼玉県、「彩の国」の愛称を決定。

15（日）●全日本体操で相原豊初優勝（父子二代）。

16（月）●日航ジャンボ四一機のエンジン取り付け金具の約四割から腐食見つかる。

17（火）●イタリア政府、マフィア掃討作戦実施。

18（水）●パキスタンで反政府デモ参加のブット元首相、連行される。

19（木）●医療機器納入汚職で東大助教授ら七人逮捕。

20（金）●英王室の離宮・ウィンザー城で火災。

21（土）●旧ソ連の五カ国にＯＤＡ承認と外務省。

22（日）●全国障害者解放運動連絡会議、「知恵遅れ」に代わる言葉「知的障害」を使用。

23（月）●日本プロサッカー初の公式戦、Ｊリーグ杯で読売クラブ優勝。

24（火）●日産「マーチ」、日本車初の欧州カー・オブ・ザ・イヤーに選出。

25（水）●囲碁の藤沢秀行王座、小林光一を破り防衛。

26（木）●衆院、佐川疑惑などで竹下元首相を証人喚問。

27（金）●貴花田と宮沢りえ婚約記者会見。

28（土）●パチンコメーカー「平和」会長、三年間で五〇〇億円の申告もれ発覚。

29（日）●競馬の第一二回ジャパンカップでトウカイテイオー優勝（初の父子二代制覇）。

30（月）●中国の李鵬首相、二一年ぶりにベトナム訪問。



AP／WWP

ロイター・サン・テレフォト

▲アヨディヤ宗教紛争が勃発（12月6日）インドで、イスラム支配の象徴だったモスクをヒンズー教徒が破壊。数日間で死者1000人の、宗教暴動の幕開けに。

◀ソマリアに多国籍軍上陸（12月9日）内戦と干ばつで飢餓に瀕した200万人を救うため、国連が"人道的介入"を決議。首都・モガディシオに米海兵隊が到着。

共同通信社

▲「カード破産110番」開設（12月11日）返済限度を超えて借りすぎ、夜逃げや犯罪にいたる若者たちの激増に、東京・銀座の弁護士事務所が「自己破産」を教え、救済に乗り出した。

▶元従軍慰安婦が証言（12月9日）東京・水道橋で開かれた「日本の戦後補償に関する国際公聴会」で、6ヵ国の女性がつらい過去を再現。写真は、北朝鮮の女性の証言後、壇上で抱き合う韓国女性。

朝日新聞社

毎日新聞社

◀「多摩川水害」で住民勝訴（12月17日）昭和49年の台風で家を流された、東京・狛江の28世帯の住民が起こしていた訴訟の差し戻し審で、東京高裁が国の河川管理の手落ちを認め約3億円の賠償金を支払うよう命じた。

読売新聞社

▲インドネシア大地震（12月12日）東部のフローレス島付近で、M7.5の地震。死者・不明2500人。写真は、最大の被災地、南の楽園・バビ島。津波のため村がひとつ消失した。

### 平成4年12月

1（火）●一〇月の有効求人倍率、四年半ぶり一倍切る。

2（水）●ＵＮＴＡＣ隊員六人、ポル・ポト派が拘束。

3（木）●伊丹監督襲撃事件で山口組系組員五人逮捕。

4（金）●国連でスー・チー女史解放の決議採択。

5（土）●ローマで一五〇ヵ国が初の食料サミット開催。

6（日）●成田空港、第二旅客ターミナルビル開業。

7（月）●九大島原地震火山観測所の太田一也所長、普賢岳の火山活動は終息の方向との見方を示す。

8（火）●中国残留孤児三三人離日。身元確認は四人。

9（水）●チャールズ英皇太子とダイアナ妃、別居発表。
●米軍、「希望回復作戦」としてソマリア上陸。

10（木）●衆議院の定数是正、九増一〇減が成立。
●横浜地裁、「第一富士丸」との衝突事故（昭和63年）で潜水艦「なだしお」元艦長らに有罪判決。

11（金）●ＷＢＡジュニアバンタム級チャンピオン・鬼塚勝也、カストロに判定勝ちし二度目の防衛。

12（土）●インドネシアで地震。死者二〇〇〇人以上。

13（日）●福岡国際女子柔道で田村亮子が三連覇。

14（月）●米国、対ベトナム禁輸措置を一部緩和。

15（火）●千葉県富里町の老人病院で半年間に一〇九人の院内感染判明。

16（水）●国連、モザンビークにＰＫＯ派遣を決議。

17（木）●東京高裁、多摩川水害訴訟差し戻し審で三億一〇〇〇万円の国家賠償を命じる。

18（金）●予防接種禍集団訴訟で東京高裁、国の過失を認め総額二三億一〇〇〇万円の支払い命令。

19（土）●いすゞ自動車と本田技研が商品供給で提携。

20（日）●仏上院、輸血のエイズ汚染で元首相ら告発へ。

21（月）●厚木基地騒音第二次訴訟で横浜地裁、飛行差し止めは却下、国家賠償金支払い命令の判決。

22（火）●金丸信への五億円献金の配分を受けたと告発された旧竹下派代議士六十数人に不起訴処分。

23（水）●中国、フランスの台湾への戦闘機売却に抗議。

24（木）●日本最古の鉄製「冠」、京都府山城町の椿井大塚山古墳の出土遺物から確認。

25（金）●大蔵省、平成五年六月から定額郵貯を市場金利と連動させることで郵政省と合意。

26（土）●閣議、国家公務員削減など行政改革大綱決定。

27（日）●有馬記念で馬連配当新記録の三万一五五〇円。

28（月）●京都市、開発規制地区の大幅拡大決定。

29（火）●米国・ロシア、第二次戦略兵器削減条約（ＳＴＡＲＴⅡ）交渉で、核弾頭削減に合意。

30（水）●東証大納会、年間出来高は一五年ぶり低水準。

31（木）●横山泰三「社会戯評」、三九年間の連載に幕。

# 我楽多市

## 流行語
## 離婚は女性の勲章!?

「バツイチ」。一九九〇年代は離婚件数の増加もさることながら、女性主導の離婚が大きな特徴となった。その結果、女性にとって離婚は〝傷〟ではなく、たんなる経験のひとつとなり、時には勲章という感さえあった。それを表したのがこの年流行した「バツイチ」で、以後、世間に定着した。

「宇宙遊泳」。株関係者の用語で、株や債券がたらいまわしにされて、引き取り手がない状態のこと。この年は市場の低迷が社会的関心を呼び、株関係者の言葉が数多く一般に広がった。これもそのひとつ。

「ミキハウス症候群」。自分の子どもに、学校ばかりでなく、塾や家庭教師まで〝ブランドもの〟をあてがおうとする母親のこと。ミキハウスのブランド服を着せる感覚で、塾なども選ぶという意。

「ブラブラ屋」。この年、ワコールから「胸もとを寄せ、上げて見せるブラ」（一九ページ参照）が売り出され、大ヒットした。都内の女子高生などの間で試着してまわることが流行、関係者の間でこう呼ばれた。

## CM100年

テレビCF「Hungry?――カップヌードル」（日清食品）

▲このシリーズは、カンヌ国際広告映画祭で1993年のフィルム・作品部門グランプリを受賞。

▶七月、大阪の市場に関西初の女性セリ人が登場。威勢のいいかけ声。

読売新聞社

## 入試
## あの東大入試に「寅さん」が登場

二月二五日に行われた東大入試の国語の問題（理系文系共通）に、映画「男はつらいよ」の「フーテンの寅さん」の台詞が出た。

「インテリというのは自分で考えすぎますからね、そのうち俺は何を考えていただろうってわかんなくなってくるんです。テレビの裏っ方でいいますと、配線がガチャガチャにこみ入っているわけなんですよね。ええ、その点私なんか線が一本だけですから、まァ、いってみりゃ空っポといいましょうか、たたけばコーンと澄んだ音がしますよ、なぐってみましょうか」

そのほか二つの寅さんの台詞の中からひとつを選び、感じたこと、考えたことを一六〇字以上二〇〇字以内で書くというこの問題、東大受験生の弱点を知っていると、関係者の間で好評だった。

（「週刊朝日」三月一三日号）

セーラー〇ムーンよ！

▲武内直子作・画「美少女戦士セーラームーン」が「なかよし」2月号からスタート。3月にはテレビアニメ化、12月には劇場アニメで公開と、爆発的なヒットとなった。

©武内直子 講談社

## 海外
## 食の博覧会で展示品総食い

〔エルサレム発〕 当地で三〇〇〇年の食の歴史を振り返る博覧会が開かれたが、入場者が展示品を全部食べてしまった。

会場にはナッツやレーズン、果物などが展示され、試食品としてオリーブや山羊のチーズなども用意されたが、試食品も展示品もアッという間。主催者は毎日補充し、その量がナッツやレーズンだけで一九〇キロ、果物は三五〇キロにも達したという。

（「福島民報」一一月二日）

▶ロック歌舞伎の「スーパー一座」が八月、名古屋・大須演芸場でサリバンのオペラに挑戦。約一ヵ月の公演。

共同通信社

## レジャー
## 名古屋の女子大で大当たり、易者ギャル

〔名古屋発〕 椙山女学園大学の易学研究会が通信手相占いを募集したところ大繁昌、二ヵ月がかりでようやく返事を完了した。

通信占いは生年月日などの必要項目を書き、両手の手相のコピーとともに申し込むもので、八月の一ヵ月間募集した。ところが三〇〇通も集まれば……という予想に、応募は一〇七九通。鑑定は一〇人の部員が担当したが、一件に三〇分から一時間かかるため、夏休みも返上、ようやく完了した。申し込んだのは二〇代のOLが中心で、女性がほとんど。「当たっている」と、評価は上々という。

（「中日新聞」一〇月一六日）



## はやり歌

**君がいるだけで**

作詞・作曲 米米CLUB

※たとえば君がいるだけで
心が強くなれること
何より大切なものを
気付かせてくれたね

ありがちな罠に　つい引き込まれ
思いもよらない　くやしい涙よ
自分の弱さも　知らないくせに
強がりの汽車を走らせていた
めぐり逢った時のように

いつまでも変わらず　いられたら
wow wow True Heart
（※くりかえし）

裏切りの鏡に　映しだされた
笑顔につられて　流された日々
儚いものへの　憧れだけで
すぐ目の前にあることを忘れてた
なぜにもっと
素直になれなかったのだろう
君にまで
wow wow True Heart
（※くりかえし）

▶米米CLUBが歌い、二七六万枚の売り上げで年間第一位、史上第三位のヒットに。レコード大賞も受賞。

ソニーレコード提供

**浅い眠り**

作詞・作曲 中島みゆき

忘れないと誓った
あの日の夏は遠く
寄せて返す波にも
あの日の風はいない
ああ二人で点した
あの部屋のキャンドルは

光あふれる時代の中で
どこへはかなく
消えていったのか
恋しさを聞かせてよ
惜しみなく聞かせてよ
他人じゃないなら
なおさら　なおさら
※浅い眠りにさすらいながら
街はほんとは愛を呼んでいる
浅い眠りにさすらいながら
街はほんとは愛を呼んでいる

ポニーキャニオン提供

▲実力派・中島みゆきが「悪女」から11年ぶりに放ったヒット曲で、テレビドラマ「親愛なる者へ」のテーマ・ソングだった。



▲米国産米の冷凍にぎり寿司の見本が大阪空港に到着。「魚の調製品」として輸入許可に。

共同通信社

## 三面記事
## さようなら、スーパーマン

〔ニューヨーク発〕 一九三八年の誕生以来、五四年にわたってアメリカ人のヒーローだったスーパーマンが、一一月一八日発売のコミック誌の中で死亡した。

その最期は、愛するロイスと多くの人々を守るため、無理を承知で強敵のドゥームズディに立ちむかったスーパーマンは、死闘のすえに敵を倒すが、自分も力尽き、ロイスの腕の中で息を引き取るというストーリー。

コミック誌を発行する出版社によると、打ち切りの理由は単行本の部数減。一九四〇、五〇年代、単行本は出すたびにミリオンセラーを続けたが、近年は一五万部まで落ちこみ、スパイダーマンという心に陰を持つ男が活躍するコミックに、大きく水をあけられていたという。このヒーローの変化に、〝古き良きアメリカ〟の時代の終わりと、将来に対する国民の幻滅感が投影されていると見る向きもある。

発売日の一一月一八日には、最終号を入手したい人々が書店に殺到、各地で大騒ぎが演じられた。

（「大阪日日新聞」一一月二六日）

## サラリーマン
## 大都市から地方へ広がる〝自分さがし〟

〔広島発〕 「自分が上司や同僚からどんな評価を受けているか、調べてほしい」

広島市内の興信所に、こんな調査依頼が増加している。この現象は東京や大阪などの大都市では、数年前から言われていたが、広島で見られるようになったのは昨年から。市内の興信所によると二年前は零で、昨年は二〇件。平成四年は九月までに一五件あり、一〇月に入って三件。

この〝自分さがし〟現象、職場で自分の存在を実感できないことの表れという。

（「中国新聞」一〇月一三日）

## 社会
## 女性でいっぱいコンドーム専門店

一二月一日、東京・六本木にコンドームの専門店「コンドマニア」がオープン、店内は若い女性でいつもいっぱいだ。

同店は、レストランバーの一角にある。六坪の店内には、カラフルなコンドームの詰め合わせセットやコイン型コンドーム、エイズ予防のメッセージをプリントしたTシャツなどがファンシーショップ風に並び、「ねっ、これ見て、かわいい！」「友だちに贈りたいのでリボンかけて」といった、若い女性の声が飛びかっている。

一日平均三〇〇人の客があり、これは開店前の予想の三倍、そのほとんどが女性である。

経営者のシモールさん（三三）は、人気の秘密を「エイズについては女性の方が真剣で、自分の身を守ろうとしているから」と分析している。

（「日刊スポーツ」一二月二四日）

▶一二三年間親しまれた東京・千代田区内最古の銭湯、稲川楼が三月一六日閉店。

毎日新聞社

▲9月14日、珍種・ユーラシアカワウソの赤ちゃんが、広島市安佐町動物園で公開された。前年に中国・重慶市から贈られた雌雄の間に誕生。

共同通信社

## この年の初もの
## イギリス製パチスロチェリーバー初輸入

●**ハイテク哺乳瓶** ミルクを入れ、適温になるとアラームが鳴るもので、未熟ママに人気を呼んだ。

●**坊主バー** 真宗大谷派の坊さん一五人がホストとなって、酒を飲みながら宗教を語り合うバーで、名前を「ボウズバア フォアローゼズ」と言い、大阪にオープン

●**少数民族の細胞バンク** 少数民族の遺伝子を生きたまま永久保存するもので、東大と米・スタンフォード大に開設。

世界の動き

# 収容所送り、虐殺、身体切断、レイプ……「多民族共存のモデルケース」の地で死者一五万人の〝隣人殺し〟
# ボスニア内戦「民族浄化」の狂気！

◀作戦行動のため山奥に移動するセルビアのゲリラ。1991年撮影。
Black Star PPS

◀サラエボの北西100キロにあるマニャツァ収容所の、ムスリム人とクロアチア人。これらの強制収容所で、残虐な行為が頻発した。
ロイター／サンテレフォト

多民族で構成される旧ユーゴスラビアの中でも、ムスリム人、セルビア人、クロアチア人が混住し、「ユーゴの縮図」と呼ばれたボスニア・ヘルツェゴビナで、一九九二年、大規模な〝隣人殺し〟が繰り広げられた。かつては「多民族共存のモデルケース」とまで言われたこの地で、なぜかくも凄惨な結末を招いた内戦が起きたのか──。

## 血を血で洗う三者の対立 隣人同士が殺し合う悲劇

ボスニア・ヘルツェゴビナの東南部にあるフォッチャ市近郊の山村が、モスグリーンの軍服に身を包んだセルビア兵に襲撃されたのは、一九九二年五月五日午後のことだった。

「出てこい、一人ずつだ！」

ムスリム系住民のボロビッツ家を取り囲んだ数十人のセルビア兵の一人がそう叫ぶ。言われたとおりに、玄関先へ出ていくと、カラシニコフ自動小銃から発射された弾丸が、祖父母や両親、兄弟に命中し、玄関前に家族六人の死体が次々と折り重なった。

「まだ中にいるのはわかってんだぞ！」

家にひそんでいて、家族の中で唯一助かった青年・ハキヤは、この時の様子を、「(次に)やつらは家に火をかけた。カーテンから燃えはじめ、そのうちオレの服まで燃えはじめた。もうだめかと思った」と回想している（千田善『ユーゴ紛争』）。

結局、この部落で助かったムスリム人は五人で、一三人がセルビア兵に殺されたという。それは、かつては「多民族共存のモデルケース」と呼ばれたボスニア・ヘルツェゴビナの各地で見られた地獄絵の、ほんの一部にすぎなかった。

互いの結婚も日常的で、ひと頃は国家の役職も輪番制で振り分けて共存していたムスリム人、セルビア人、クロアチア人の対立が表面化したのは、連邦国家として運営されてきた旧ユーゴ（六つの共和国と二つの自治州から構成）の解体が加速した、一九九二年のことだった。

この年の二月二九日と三月一日、人口比率では、四四パーセントを占めるムスリム人と一八パーセントのクロアチア人が、旧ユーゴからの独立を問う国民投票を敢行。旧ユーゴへの残留を主張する反対派のセルビア人（三一パーセント）との間で対立が表面化する。

結果は、有権者の六二パーセントが独立を支持。三月には実際に独立をはたすが、これを機に、血を血で洗う三つ巴の殺し合いが繰り広げられたのである。

「そもそもボスニア・ヘルツェゴビナは、宗教（イスラム教、カトリック、セルビア正教）を異にする三者の合意を前提に成立していた共和国でした。ところが、旧ユーゴの解体にともなう独立をめぐって、混住していた三者がそれぞれの領域の拡大に奔走。その過程で、他民族を排除するための『民族浄化』と言われる政策がとられたのです」

と、東京大学大学院の柴宜弘教授は語る。

## 人口構成まで激変した「作られた内戦」の行方

当時、最も多発したのが、セルビア人のムスリム人に対する「民族浄化」と言われる。その手段は、おもに追放、収容所送り、殺戮の三つだった。

「財産収奪、難民収容所送り、隔離、レイプ、拷問、身体切断、虐殺、その他あらゆる暴力行為によって、他の民族から領土要求されている地域に住む望ましからざる住民グループは無気力状態に陥り、移住せざるをえない状況に追い込まれた」（マリー・ヤニネ・ツァリツ「ボスニア・ヘルツェゴヴィナにおける戦争」＝一九九七年一二月「現代思想」臨時増刊）

一九九二年八月、英国のITNテレビが放映した、ボスニアにあるセルビア人勢力の「強制収容所」の様子は、なまなましさで世界中に衝撃を与えた。鉄条網の向こうに立つ耳を切り落とされたムスリム人が、耳を切られた理由を聞くテレビクルーに「わけは言えない」と語った、あの映像である。

さらに、最も国際的非難を招いたのが、「レイプ収容所」（一九九三年二月までに四二ヵ所あったとされる）などでの、組織的な集団レイプだろう。

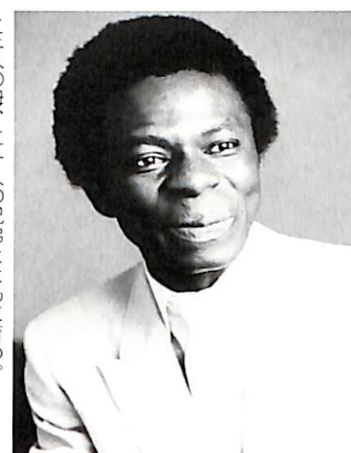
一九九二年から九三年に調査を行ったEC調査団によれば、セルビア兵に暴行を受けたボスニア女性（多数はムスリム人）は約二万人。他方、国連が任命した旧ユーゴ人権問題特別調査団は、被害者



参考「毎日新聞」（1992年8月14日）

◀一九九二年における各派の支配地域と収容所。

# 「外タレ」サンコンが体験した日本人の〝差別の構造〟

——佐伯 修

一九六〇年代まで、日本のマスメディアに登場する「外タレ」つまり外国人タレントと言えば、中国（台湾）出身のジュディ・オングらを例外として、おおむね「青い眼」の白人系欧米人たちだった。その後、インド出身の演歌歌手・チャダや、スリランカ出身の「ウィッキーさん」らが現れ、いずれもユニークで強いインパクトを感じさせ、タレントの国際化を一気に進めた。

アフリカ、ギニア共和国出身の、オスマン・ユーラ・サンコン（一九四九〜）も、時に道化を演じつつ、強烈な個性を放つ、そんな外国人タレントたちの一人である。しかし、彼がれっきとした同国の外交官として、駐日大使館開設などにたずさわったことなどを知る人は、そう多くはないかもしれない。一九八〇年代後半からの、テレビのバラエティ、クイズ番組などへの出演も、日本アフリカ開発協会事務局長としての活動の、あくまでも余技だった。

そんなサンコンは、この年、自身の育ったギニアのムスリム（イスラム教徒）社会の、家族と精神生活、自然観などをつづった著書『大地の教え』を日本で刊行した。日本語で書かれたこの本には、ギニアでも死者の「初七日」や「四十九日」を弔う、といった興味深い記述も見られるが、同書の中で、彼は日本人の「差別」意識に厳しい指摘を行っている。

彼は言う。「日本社会には感覚的な差別が多い。文化に多様性がないばかりか、世界の現実を知らなすぎるからだろう」。また、「いけないことだが、差別もオープンにしてしまえば、そこにいさかいやケンカが起こり、反省する機会も生まれる。だが、内に込めてしまえば感情はさらに陰湿化する」とも。日本では「内に込めた差別感情をすっきり表に出せないことが、さらに差別感情を増幅させている」と、言うのだ。

また彼は、以前、皮膚が黒いという外観ゆえに、レストランで入店を断られた経験を持ちながら、テレビ番組で、暗闇の中で黒人の自分をさがすゲーム「闇夜のサンコン探し」に、あえて出演した心境を、こう記している。

「ぼくはスタジオでゲームに興じて見せた。そうしなければ、日本社会に入れなかったからだ。だが、別な言い方をすれば、『ぼくは、ぼくで、日本社会を認めるから、日本社会も、ぼくという黒い人間を人間として認めろ』というぼくの主張だったのだ。

権利の自己主張でない、互いに人間として認め合って生きていこうというぼくの心の叫びだった」

▶三人の母、二一人の兄弟とともに育つ。

を約一万二〇〇〇人と推定。うち一一九人の妊娠を指摘している。

結果、一九九三年春、ボスニアの病院やクロアチアの難民収容所などでムスリム人女性の出産が相次いだが、母親が失踪したり、赤子の顔を見るのを拒否するなどの悲劇が生まれたのである。

家族や文化の象徴としての女性を攻撃するために、戦略的に行われた集団レイプ事件は、ムスリム人やクロアチア人によっても引き起こされた。

こうした「民族浄化」の結果、ムスリム人四四％（一八九万人）、セルビア人三三％（約一四一万人）、クロアチア人一八％（七七万人）の人口比率は、それぞれ全体の六割以上、三割弱、一割弱に激変。被災者・難民の数も、ボスニア・ヘルツェゴビナで総人口の約半数、二五〇万人近くに達した。農業や機械部品の生産、銅の製錬が主要産業だったが、内戦により工業設備の八割が破壊された。

「言語が同じで、外見も変わらない三者には、似ているがための〝近親憎悪〟が潜在的にありました。それが、『撃たなければ相手に殺される』という緊迫した状況で表面化し、民族主義に基礎をおいた各勢力の指導者の政策、マスコミのプロパガンダなどが促進要素となり、内戦にいたったのです。さらに言えば、混住地域という特殊な条件を考慮せずに民族自決を〝正義〟とし、セルビア悪玉論をあおった米国、ECの対応も、交渉の道を閉ざす一因でした」（前出・柴教授）

その後、国連やECなどによりいくつもの和平案が出されては消えたが、一九九五年一一月、クリントン米国大統領らの主導で、和平協定（デイトン協定）の正式調印がパリで行われた。三年半以上におよぶ内戦が一応、終息したのだ。

これにより、ボスニア・ヘルツェゴビナには、サラエボにある中央政府のもと、ムスリム・クロアチア人で構成される「ボスニア・ヘルツェゴビナ連邦」、セルビア人の「セルビア人共和国」という二つの自治国家がおかれることとなった。

たしかに、戦闘は停止した。しかし復興と民族融和の道のりは、まだまだ険しい。難民の帰還、戦犯逮捕、地雷撤去など、問題は山積したままなのである。

AP WWP

▲1992年5月27日、2日間の停戦中のサラエボ中心街に砲弾が。20人死亡。



# 往きて還らぬ

▲2月10日　岡田嘉子（89）
女優。大正11年「髑髏の舞」で映画デビュー。昭和13年、杉本良吉とのソ連への〝恋の逃避行〟が大きな話題を呼ぶ。

▲2月10日　A・ヘイリー（70）
米国のジャーナリスト。1976年『ルーツ』が世界的ベストセラーとなる。翌年ピュリッツァー賞受賞。

▲3月6日　丸山千里（90）
医師、元日本医科大学学長。癌治療薬「丸山ワクチン」の開発者で、昭和39年投与開始、現在も多くの患者が使用。

共同通信社

▲4月2日　若山富三郎（62）
俳優。昭和30年映画「忍術児雷也」でデビュー。「極道」シリーズなど任侠映画の花形スターに。勝新太郎は弟。

▲5月6日　M・ディートリッヒ（90）
独の映画女優。ハリウッドに渡り、1930年「嘆きの天使」に主演、美貌と脚線美で一世を風靡。「モロッコ」など。

共同通信社

▲5月27日　長谷川町子（72）
マンガ家。「サザエさん」の生みの親。昭和21年新聞連載開始、44年テレビアニメに。ほかに「いじわるばあさん」。

▲6月15日　今西錦司（90）
元京大教授。人類学者として、独創的な〝今西進化論〟を提唱。また日本のサル学を世界的水準に引き上げた。

▲7月5日　近江俊郎（73）
歌手。昭和23年「湯の町エレジー」が大ヒット。田端義夫、岡晴夫らと〝戦後派三羽ガラス〟と言われた。

▲7月26日　大山康晴（69）
将棋棋士、15世名人。将棋史に残る名棋士で、タイトル戦の優勝124回。日本将棋連盟会長もつとめた。

▶8月4日　松本清張（82）
小説家。昭和27年『或る「小倉日記」伝』で芥川賞受賞。『点と線』『ゼロの焦点』などで推理小説ブームを生む。

▲8月9日　大槻文平（88）
実業家。元経団連会長。昭和38年三菱鉱業社長に就任。三菱グループのまとめ役となる。著書『私の三菱昭和史』。

▲8月12日　中上健次（46）
小説家。昭和50年『岬』で芥川賞、52年『枯木灘』で芸術選奨新人賞などを受賞。ほかに『鳳仙花』『熊野集』。

▲9月12日　A・パーキンス（60）
米国の俳優。1960年ヒッチコック映画「サイコ」で変質者を好演。「サイコ3」では監督も。エイズで死亡。

# ミニ事典

## 1992年のキーワード

### 共和事件
大手鉄骨メーカー・共和のリゾート開発などをめぐる汚職事件。東京地検特捜部は一月一三日、元北海道・沖縄開発庁長官の阿部文男を共和から現金九〇〇〇万円を受け取ったとして受託収賄容疑で逮捕、政界への闇献金解明が期待された。さらに、国会で鈴木善幸元首相の参考人聴取、塩崎潤元総務庁長官も証人喚問され、金銭の授受は認めたが、後に返却したと追及を逃れた。阿部は二年後、懲役三年、追徴金九〇〇〇万円の実刑判決を受け、控訴。

### LSI
ICの集積度を高め、小型・軽量化した新世代の大規模集積回路。半導体チップ上に約一〇〇〇個以上の素子を集積化。二月一九日、富士通がスーパーコンピュータの演算機能をひとつにまとめたLSIを、世界で初めて開発。日立製作所も、一秒間に一〇億回の命令を処理できる、世界最高速の一チップマイコンの試作に成功したと発表した。LSIは急速にICを凌駕、電卓をはじめ各種電子機器の頭脳として普及した。

### UNTAC
パリ和平協定によりカンボジア政府が成立するまでの期間、PKO(国連平和維持活動)を指揮、同国の全権を掌握した組織。国連カンボジア暫定行政機構。三月一五日発足。国連事務総長特別代表に明石康、本部・プノンペン。PKOには日本の陸上自衛隊を含め約一万六〇〇〇人、国連史上最大の軍隊が参加、ポル・ポト派の武装解除には成功しなかったが、翌年五月の総選挙により暫定政府を発足させ、所期の目的をとげた。

▲明石康。米国大学院時の極東情勢報告で国連にスカウトされる。

### 尊厳死
不治の病で死期の迫っている人が、延命治療を拒否し自然死を選ぶこと。米国では「自然死法」を制定した州が一九九二年までに四七にものぼり、日本でも三月一八日に日本医師会が尊厳死を容認する報告書を作成、民間運動団体・日本尊厳死協会が設立されるなど大きな流れになった。「尊厳死」には、前年の東海大安楽死事件のように、家族や医師に依頼し毒物で命を絶つ行為は含まれない。

### 顕微授精
体外受精の技術のひとつ。顕微鏡をのぞきながら卵子のまわりの透明体を開孔し、精子を注入する受精法。人工的要素が強いため、あえて「授精」の表記を使用。宮城県岩沼市のスズキ病院が四月七日、日本で初めて成功。この年、三五人の顕微授精児が誕生している。精子の能力に原因のある不妊症に有効だが、人為性が強いことなど問題点も多い。

### 飛ばし
証券会社が顧客の損失を隠す目的で、買わせた株や債券を決算期の違う別の顧客に市場外の取引で転売させること。転売を受けた顧客には、利息を乗せて買い戻してもらえるため好評だったが、転売するごとに利息が累積。バブル崩壊後、損失を抱えた顧客から訴えられるケースが続出した。この年四月二八日に大蔵省から営業停止処分を受けた山種証券も、この「飛ばし」が原因だった。

毎日新聞社

▲三月一一日、「飛ばし」問題で辞任表明する大和証券の同前雅弘社長(左)。

### 遺伝子組み換え食品
異種の生物から分離したDNAを、試験管内で切断あるいは連結することで生み出される食品。農林水産省が定めた昭和六三年の指針によれば、一般の畑で栽培されるまでには安全性、生態系におよぼす影響から、四段階の規制を経なければならず、この年の五月二七日、日本で初めて、つくば市の農水省農業環境技術研究所の遺伝子組み換えトマトの苗一〇〇本が、一般栽培にいたった。

### ミニ新幹線
在来線の線路を標準軌に作り変えて新幹線と接続する鉄道。在来線のトンネル・駅をそのまま利用し、従来の新幹線より車体が小さいことから「ミニ」の名で呼ばれる。七月一日に開業した山形新幹線「つばさ」が第一号。福島—山形間を標準軌にし、東京—山形を在来特急より約四〇分速い二時間二七分で結んだ。平成九年には、東京—秋田間にも同様の秋田新幹線が開通している。

共同通信社
▲踏切のある線路を高速走行する、山形新幹線が開業。

### 救急救命士
厚生省が七月一日からスタートさせた国家資格制度。救急車に同乗、現場から病院に到着するまでの間、交通事故や心臓病などで「心肺停止状態」になった患者の救命にあたる。日本では「心肺停止状態」で、病院に運ばれた患者のほとんどが死亡、米国では一割以上が助かる。この状態を脱却するため、制度導入に踏み切ったもの。国家試験は年二回。救急隊員三五一人が一期生となった。

### 証券取引等監視委員会
証券市場の不正行為を取り締まるために設立された組織。検察庁など五省庁から約二〇〇人が出向、七月二〇日に発足した。委員長は水原敏博・前名古屋高検検事長。一二月七日、コンピュータ輸入販売会社・日本ユニシスの株価を操作し、一九〇〇円から三七〇〇円近くまで高騰させた仕手集団・新谷グループを摘発したのが最初の仕事となった。

### 輝く道
ペルーの左翼ゲリラ組織、センデロ・ルミノソ。アンデス山脈のウアマンガ大学哲学科元教授・グスマンの指導で、ペルー共産党から分裂。組織の名称は共産主義者・マリアテギの「マルクス・レーニン主義は革命への輝く道を開く」という言葉から来ている。彼らの武装闘争に巻きこまれて、過去一二年間に二万五〇〇〇人以上の民衆が死亡した。この年の九月一二日、グスマンが逮捕され、勢いは急速に衰えた。

週刊YEAR BOOK/日録20世紀 1992

## CONTENTS




●編集
講談社総合編纂局
アート・ディレクター 山口至剛
表紙デザイン 山口至剛デザイン室(茂村巨利)+渡邉裕一
本文レイアウト デザインオフィス八起き
編集協力 (有)エービーシープレス (株)カマル社 (株)コミュニケーションハウス・ケースリー シド・プロ (有)マックス (有)マライカ
飯田守 小原伸夫 鍵和田良輔 菊地美優貴 小松邦宏 張替政展 藤森雅弘 森邦久 結城順一 吉田忠正

●写真協力
岡田康博 北上昌子 鈴木幸輝 武内直子 但馬憲 田島照久 内藤利朗 朝日新聞社 ウラジオストク新聞社 AP 共同通信社 サンテレフォト CNN 時事通信社 PPS Black Star 報知新聞社 毎日新聞社 読売新聞社 ロイター WWP 伊丹プロダクション ギャラックプレミアム シネマライズ Stout & Thomas スタジオジブリ ソニーレコード 大映 ビーエスシー ポニーキャニオン リバティフォックス 青森県教育庁文化課三内丸山遺跡対策室 アートカタログ・ライブラリー The Estate of Robert Mapplethorpe 太地町立くじらの博物館 NASA